



TITLE:

# 京都大学東南アジア研究センター 要覧 平成3年度版

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学東南アジア研究センター要覧 平成3年度版. 京都大学東南アジア研究センター要覧 1991, 1991: 1-64

ISSUE DATE:

1991

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/244195>

RIGHT:

# 京都大学 東南アジア研究センター要覧

平成3年度版

## ま え が き

京都大学東南アジア研究センターは、昭和40年にわが国初の研究センターとして官制化され、東南アジア世界のなりたちの解明をめざす地域研究の拠点として、大きな発展を遂げてまいりました。平成2年度には創立25周年を迎え、本年2月、それを祝う記念式典が盛大にとり行われました。わが国に学術的な東南アジア研究を定着させ、併せて地域研究の望ましい手法を確立するうえで、当センターは多少とも貢献を重ねてきたのではないかと自負しております。

当センターの研究部は、平成元年度から、従来の九つの部門よりなる講座制的編成に代えて、あらたに5大部門および客員部門よりなる大部門制に変わりました。現在は、生態環境、社会生態、統合環境、地域発展、人間環境の五つの大部門がそれぞれ独自の主体性を保ちながら、全体として有機的統一を心掛けつつ研究を推進する仕組みになっております。他方、研究部とならんで、資料部も研究部の研究をたすける重要な役割を果たしており、とくに図書室は、現地語資料を中心にめざましい充実をみせています。

現在、当センターは、研究計画委員会（委員長 高谷好一教授）の定める研究計画の大枠を踏まえながら、地域研究の知性化と道義化とをつよく意識した「東南アジア学」の構築をめざして、積極的な研究活動を展開しております。その成果の一端は、創立25周年を記念して刊行された『講座・東南アジア学』（全十巻、弘文堂刊）で世に問われることになりました。センター教官による臨地調査も、アジアの全域で精力的に重ねられております。

本要覧は、東南アジア研究センターの機構や研究活動の現状を広くお知らせするためのものです。わが国のアジアへの貢献がつよく求められているいま、私どもの東南アジア研究センターとしても、正しいアジア認識とアジアとの正しいかかわりの論理を求めて、なお一層努力を深める所存であります。本要覧を通じて本センターの意図するところをご理解いただき、今後とも格別のお力添えを賜ると幸いに存じます。

平成3年12月1日

京都大学東南アジア研究センター

所 長 矢 野 暢

## 目 次

第1章	性格と沿革	1
第2章	機構と組織	4
	1. 機 構	
	2. 協議員	
	3. 職 員	
	4. 海外連絡事務所	
	5. 学内研究担当教官	
	6. 学外研究協力者	
	7. 大学院教育	
第3章	研 究 活 動	8
	1. 調査・研究	
	2. 国際交流	
	3. シンポジウム・セミナー・研究集会	
	4. 研究会等	
	5. 東南アジアセミナー	
	6. 資料収集及び情報処理	
	7. 出 版	
第4章	研究スタッフ	22
	1. 研究部門	
	2. 資料部	
第5章	出 版 目 録	43
	1. 東南アジア研究叢書（和文，英文）	
	2. 『東南アジア研究』	
	3. 研究報告書シリーズ	

## 第1章 性格と沿革

京都大学東南アジア研究センターは、東南アジアおよびその周辺諸国を総合的に研究することを目的として設立された特色ある研究機関である。東南アジアとは、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ビルマ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ブルネイの10ヵ国をさすが、研究の対象としては、厳密にこの範囲に限定しているわけではない。仏教の研究のためスリランカをふくめ、熱帯稲作の研究のためバングラデシュ、インドにまで手をひろげ、対外経済活動の研究のためには香港、台湾、韓国をも対象としたこともある。周辺諸国というのは、この意味である。

センターの研究活動は、東南アジアの自然環境の諸要因の自然科学的研究をもふくむ点において、人文科学とくに人類学と政治学を中心とする欧米の地域研究とは異なる特色もっている。東南アジアの地域理解のためにその自然環境の現状と変遷の過程を視野に入れることが基本であるという研究手法は、より総合的な地域研究の場としてセンターを特色づけているといえよう。欧米の地域研究 Area Studies に対して、センターのそれは、Integrated Area Studies と位置づけることができよう。センターは、このような学際的研究手法に加えて、その研究対象の力点を近代以降の東南アジアにおき、かつ文献解釈的研究よりは現地調査を重視して、現在の生きいきとして活動し、変転している東南アジアの学問的理解に貢献することを期している。

近隣のアジア諸国とわが国との学術文化の交流が深まるにつれて、センターが地域研究の中心として果たすべき役割への期待はいよいよ高まりつつある。その要請にこたえるため、センターは東南アジア諸国の学者・文化人はもちろん、東南アジア研究に関心をもつ世界の学者との不断の交流につとめている。そして同時に東南アジアに関する文献資料・学問的情報を収集し、それらをひろく内外の学者に利用してもらえるような態勢を整備しつつある。学問研究の国際交流は、これからの日本にとって大きな課題であるが、とくに近隣の東南アジア諸国の基礎的研究を実施しているセンターは、こうした面でもつねにその先達としての努力を傾ける必要があろう。

東南アジア研究センターが、京都大学に正式に設置されたのは、1965年のことである。それより以前、1963年1月には、本学に学内措置として「東南アジア研究センター」が設けられた。学内措置として創設せられた当時は、もっぱら民間からの寄付金とフォード財

団からの研究奨励金を委任経理金として受け入れ、それによって多数の本学教官を東南アジア各地の現地調査に派遣した。その研究活動の中心は、タイ計画とマレーシア計画という二つの総合調査であった。それは人類学者による村落定着調査から、農学者による熱帯稲作の諸条件の研究に至るまで、極めて多岐にわたったが、常に現地に密着し、現地の研究者と共同して研究を進めるという態度を失わないように留意してきた。このため当初よりバンコクに連絡事務所を置き、政府機関・大学・研究者との交渉、連絡に当たらせてきた。これらの研究の成果は、1963年に創刊された『東南アジア研究』に次々と発表され、内外の学者の注目を浴びるに至った。

この成果に対する評価は、センターが1965年4月に国立学校設置法施行規則の改正による全国で初めての「研究センター」として、京都大学の正式の研究機関と認められた事によって確定したと言えよう。それより逐年研究部門の増加を認められ、1988年度までに12部門（客員部門3をふくむ）、教授13名（客員部門教授相当4をふくむ）、助教授12名（客員部門助教授相当2をふくむ）、助手9名（客員部門助手相当2をふくむ）の定員を持つ研究機関に成長した。特にこの客員部門のうち、地域研究第一（外国人客員）研究部門は、東南アジアからの研究者をセンターの客員研究員として迎えるもので、この種の国際交流のための部門の設置は全国で最初の試みであった。

1989年度には研究部門の大幅な編成替えが実施された。これは、それまでの客員部門を除く9研究部門を5つの大部門に統合するもので、これによってセンターの研究スタッフは、教授18名（客員部門教授相当4を含む）、助教授12名（客員部門助教授相当2を含む）、助手8名（客員部門助手相当2を含む）へと拡充された。新しい大部門は、自然環境、社会生態、統合環境、地域発展、人間環境の5部門で、現在、新部門への統合に伴うさまざまな準備・調整作業が進行中である。

センターは、創設の当初以来和英両方の研究叢書の出版を行なっており、研究成果を内外に問うてきているが、1970年以降、邦文は創文社に、英文は University of Hawaii Press に出版を委託して公刊している。また『東南アジア研究』も内外の大学その他の研究機関と交換しているばかりでなく、財団法人アジア研究協会（理事長 奥田東）に委託して、一般に購読してもらう道をひらいている。

1969年に「バンコク連絡事務所」の運営経費が、次いで1973年に「ジャカルタ連絡事務所」の運営経費も国の予算として認められると共に、現地調査費も国の予算で認められ、ようやく当センターの現地調査を計画的に推進する最小限の基礎が与えられるようになった。

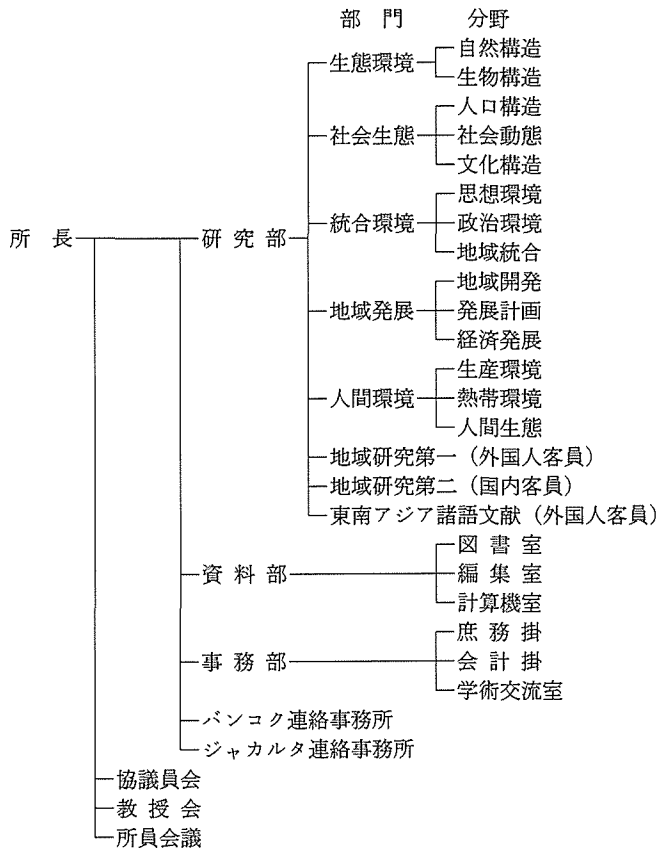
た。それ以来センターでは、この予算を活用して、大学内の「研究担当教官」による東南アジア研究をわずかながらも支援できるようになった。また1978年度から「非常勤講師経費」を認められ、さらに1980年度には地域研究第二（客員）研究部門が設けられたことにより、「学外研究協力者」が積極的に研究参加できる機会を提供できるようになった。また、1986年度には新たな客員部門として、東南アジア諸語文献研究部門が新設された。近年、東南アジア各国の図書資料が精力的に収集されているが、この部門新設によってそれらの整理方法の確立、資料情報の一層の収集のために、東南アジア各国から書誌学者、カタログガーを招くことが可能となった。

1981年以来、センターの旧自然系の二つの研究部門（旧生物構造並びに自然構造部門）が、本学農学研究科に新設された熱帯農学専攻の協力講座として、大学院教育にたずさわっている。また、1984年に新設された旧水文環境部門もこれに加わった。1989年度の研究部門の編成替えののちも、自然環境、地域発展、および人間環境に配属された同じスタッフが、継続して大学院生の指導にあたっている。

## 第2章 機構と組織

### 1. 機構

1991年度現在，東南アジア研究センターは，5大研究部門，3客員研究部門からなる研究部，および資料部，事務部で構成され，東南アジア地域の現地調査を円滑に行うための海外連絡事務所として，タイにバンコク連絡事務所を，インドネシアにジャカルタ連絡事務所を設置している。事務部は庶務・会計の2掛に分かれ，さらに内部組織として学術交流室を設置し，それぞれ業務を担当している。また，本センターの議決機関・協議機関として，協議員会，教授会，所員会議が設けられている。





## 2. 協 議 員

協議員会は、センターの運営に関する最高議決機関であり、センターの所長、全教授および助教授1名並びに関係学部・研究所より選任された教授または助教授に対しセンター所長が委嘱した協議員5名によって構成されている。

## 3. 職 員

センターの職員は、(イ) 研究部、(ロ) 資料部 (図書室, 編集室, 計算機室), (ハ) 事務部からなる。1992年1月 現在の職員は次の通りである。

所 長   教 授   矢   野   暢

### (イ) 研 究 部

#### 生態環境部門

教 授   高   谷   好   一	自然地理学
教 授   古   川   久   雄	熱帯農業環境
助 教 授   山   田   勇	森林生態学
助 手   阿   部   健   一	森林生態学

#### 社会生態部門

教 授   坪   内   良   博	社会学, 人口学
教 授   前   田   成   文	文化人類学
教 授   加   藤   剛	比較社会学
助 教 授   五十嵐   忠   孝	人類生態学

#### 統合環境部門

教 授   矢   野   暢	政治学, 地域研究論
教 授   土   屋   健   治	政治思想論
助 教 授   玉   田   芳   史	比較政治学
助 手   木之内   秀   彦	政治学

#### 地域発展部門

教 授   吉   原   久仁夫	経済学
教 授   海   田   能   宏	農村開発論, 熱帯農業水文学

助 教 授	高 阪	章	国際経済学，経済発展論
助 教 授	池 本	幸 生	経済発展論
助 手	上 田	曜 子	経済発展論，タイ経済論
人間環境部門			
教 授	福 井	捷 朗	農業生態
助 教 授	田 中	耕 司	作物学
助 手	河 野	泰 之	土地・水利用
客員研究部門			
地域研究第一（外国人客員）			
	Tongthong Candransu		タイ国法制史
	Koentjaraningrat		文化人類学
	Sukanya Nitungkorn		経済学
	Omar Farouk		政治学
地域研究第二（国内客員）			
教 授	荻 野	和 彦	森林生態学，造林学
助 教 授	松 下	敬一郎	人口経済学
東南アジア諸語文献（外国人客員）			
	Reynaldo Iletto		東南アジア史
	Aurathai Wareesa-ard		図書館学
(ロ) 資 料 部			
助 手	北 野	康 子（図書室）	東南アジア書誌学
助 手	米 沢	真理子（編集室）	
助 手	永 田	好 克（計算機室）	言語情報処理
(ハ) 事 務 部			
事 務 長	事務官	文 字	健 二
庶 務 掛	掛長	事務官	野 木 正 博
	事務官	山 本	重 夫
	事務官	石 田	達 郎
	臨時用務員	二 股	房 子
会 計 掛	掛長	事務官	村 井 豊

主任	事務官	西 山 幸 夫
	事務官	村 上 正 明

#### 4. 海外連絡事務所

##### (イ) バンコク連絡事務所

バンコク連絡事務所（所在地，25/1 Soi 16, Sukhumvit Road, Bangkok, Thailand, 電話 259-6475; Fax 258-1834）は，1963年10月に開設されて以来，6度にわたって駐在地の変更があったが，この間のべ51名が駐在の任に当たった。

##### (ロ) ジャカルタ連絡事務所

ジャカルタ連絡事務所（所在地，Jalan Gunawarman, No. 47, Kebayoran Baru, Jakarta, Indonesia, 電話 720-3668; Fax 720-2324）は，1970年10月に開設されて以来，4度にわたって移転があったが，この間のべ34名が駐在の任に当たった。

#### 5. 学内研究担当教官

当センターは，東南アジア研究に関心をもつ学内各学部・研究所の教官に，研究担当教官として参加を委嘱している。1991年度において，これらの学内研究担当教官は128名を数える。

#### 6. 学外研究協力者

当センターは，総合的に地域研究を実施するため，東南アジア地域の研究に関心をもつ全国各地の大学・研究機関等の研究者に，研究協力を仰いでいる。1991年度において，これらの研究協力者は204名である。

#### 7. 大学院教育

1981年以来，センター旧自然系の二つの部門（生物構造並びに自然構造部門）が，本学農学研究科に新設された熱帯農学専攻の協力講座として，大学院教育にたずさわることになり，また1984年以降は新設された水文環境部門もこれに加わった。現在，生態環境，地域発展並びに人間環境部門の7名の教官が講義と研究指導を担当し，東南アジア諸国からの留学生3名を含む13名の専攻大学院生がこれらの協力講座に属している。

## 第3章 研 究 活 動

### 1. 調査・研究

#### (1) 共同研究

センターの調査・研究活動は個別研究と共同研究に大別されるが、共同研究のうち、センターの大部分のスタッフの関与するものは、センター研究計画（プロジェクト）として推進されている。1980年度から1984年度までの5ヵ年計画として、「東南アジア世界の形成過程に関する総合的研究」というテーマのもとに、このセンタープロジェクトが遂行され、また1985年度から、第2次5ヵ年計画として「東南アジア世界の成立と展開に関する文明論的総合研究」が進められた。1990年度からは、第3次5ヵ年計画として「東南アジア世界の固有論理と発展構造に関する研究」が進められている。これら共同研究は、現地調査を中心として行われること、学際的なチームメンバーを組んで行われること、東南アジア地域の外国人研究者の参加を得て行われることを特色としている。

1980年度から開始された「東南アジア世界の形成過程に関する総合的研究」5ヵ年計画では、「熱帯モンスーン・エコシステムにおける農業の発展と地域間交渉の展開」と「小型家産制国家の社会基盤と経済発展」の二つの研究班が編成された。1985年度から始まった「東南アジア世界の成立と展開に関する文明論的総合研究」では、「外文明と内世界」、「文明と国家形成」、「文明と生態環境」、「文明と経済環境」の4つの研究班が組織された。

1990年度から始まった「東南アジア世界の固有論理と発展構造に関する総合的研究」では4つのクラスターを作って研究を進めている。「東南アジア世界の成立と歴史構造」、「東南アジアの自然生態と発展形態」、「東南アジアの人間環境と社会組織」、「東南アジアの文化環境と地域統合」が4つのクラスターである。いずれのクラスターも、文部省科学研究費補助金（海外学術調査）あるいはその他の機関の援助を得て精力的な調査を進めている。本年度までに出版された研究成果の一部は、第5章「出版目録」の研究報告書シリーズの項に掲載されている。なお、1985年度以降にこの共同研究のもとで実施された科学研究費補助金による海外学術調査は以下のとおりである。

1985年度：「経済計画と開発政策の東南アジアの特性に関する研究」（研究代表者：江崎 光男）

- 「熱帯島嶼域における人の移動に関わる環境形成過程の研究（調査総括）」（研究代表者：前田 成文）
- 1986年度：「マレー型農耕文化の系譜－内発的展開と外文明からの変容」（研究代表者：高谷 好一）
- 「経済計画と開発政策の東南アジア的特性に関する研究（調査総括）」（研究代表者：江崎 光男）
- 1987年度：「マレー型農耕文化の系譜－内発的展開と外文明からの変容（調査総括）」（研究代表者：高谷 好一）
- 「東南アジア型都市文明の形成－外文明からの変容と内発的展開」（研究代表者：坪内 良博）
- 1988年度：「マレー型農耕文化の系譜－内発的展開と外文明からの変容」（研究代表者：高谷 好一）
- 1989年度：「中国における農業生態空間の展開と人の移動に関する歴史的研究」（研究代表者：桜井 由躬雄）
- 「東南アジア型都市文明の形成－外文明からの変容と内発的展開」（研究代表者：坪内 良博）
- 「環インド洋農耕文化圏の系譜」（研究代表者：高谷 好一）
- 1990年度：「東南アジア型都市文明の形成－外文明からの変容と内発的展開」（研究代表者：坪内 良博）
- 「中国における農業生態空間の展開と人の移動に関する歴史的研究」（研究代表者：古川 久雄）
- 「東南アジア海域世界の動態に関する総合的研究」（研究代表者：土屋 健治）
- 1991年度：「中国における農業生態空間の展開と人の移動に関する歴史的研究」（研究代表者：古川 久雄）
- 「東南アジア海域世界の動態に関する総合的研究」（研究代表者：土屋 健治）

以上のセンタープロジェクトの他にさまざまな共同研究がセンター内外の研究者を組織して実施されている。日本学術振興会の拠点大学方式による日本・タイ学術交流事業に関わる共同研究、あるいは国際協力事業団の研究協力事業として実施されているバングラデシュとの共同研究「バングラデシュ農村開発研究」などが現在進行中のおもなプロジェクトである。

## (2) 個別研究

現在のセンターのスタッフによる個別研究については第4章「研究スタッフ」の紹介の項をご参照願いたい。

### (3) 学内研究担当教官等による現地調査

センターには学内研究担当教官等のための現地調査費が文部省の予算措置として認められているが、近年は予算額が限られているために多くの調査計画のうちごく一部が実現されているにすぎない。1989、90年度の実績は以下の通りである。

年度	氏 名	所 属	調 査 国	調 査 内 容
1989	應 地 利 明	文 学 部	シンガポール, インドネシア	東南アジア島嶼世界におけるミレット農耕に関する研究調査
1990	津 田 盛 也	農 学 部	インドネシア, マレーシア, シンガポール	熱帯アジアにおける香辛料作物の病害に関する研究調査

## 2. 国際交流

センターにおける研究活動の推進とその寄与を深めるため、種々の形で外国の研究者、専門家との交流にも力が注がれている。

### (1) 外国人研究者の招聘

1975年度より客員研究員の制度をセンターに設け、主として東南アジア諸国の研究者を招聘し、滞在中センター研究スタッフの一員として共同研究あるいは意見の交換を行なっている。そのほかにも随時、外国人研究者の訪問、滞在を受け入れ便宜を計っている。以下は1990年以降にセンターにおいて研究を行なった外国人研究者のリストである。但し、1990年に滞在した者のうち、すでに『平成元年度版センター要覧』に掲載された研究者は除かれている。

#### A. 外国人研究員

Satyagraha Hurip	1990	オランダ時代と日本時代のインドネシア文学	Former Editor in Chief of <i>Sinar Harapan</i> (インドネシア)
Shaharil Talib	1990	植民地時代のマレー半島、特にジョホール州における人口変動	University of Malaya (マレーシア)

Sukristijono Sukardjo	1990-91	熱帯林とくにインドネシアの マングローブ生産力に関する 研究	LIPI(インドネシア)
Luwarsih Pringgoadisurjo	1990	インドネシア語研究資料の目 録の研究(特にマニュアル作 成)	LIPI(インドネシア)
Pornpimon Chansung	1990	タイ語研究資料の件名目録の 必要性について	Ministry of Public Health (タイ)
Pongsak Sahunalu	1990-91	熱帯林の生産力に関する研究	Kasetsart University(タイ)
Somboon Suksamran	1990-91	タイ国における政治文化の研 究	Chulalongkorn University (タイ)
Chu Van Lam	1990-91	インドシナ近現代史に関する 文献調査	Vietnam Social Sciences Committee(ベトナム)
Ruperto Pascual Alonzo	1990-91	教育水準による労働の社会的 評価	University of the Philippines (フィリピン)
Suchada Amornpichetkul	1990-91	タイ語研究資料の逐次刊行物 の研究	Ramkhamhaeng University (タイ)
Tongthong Chandransu	1991-92	チャクリー改革期タイ法制史	Chulalongkorn University (タイ)
Koentjaraningrat	1991-92	イリアンジャヤ地方の社会発 展	Emeritus Professor of University of Indonesia (インドネシア)
游 修齡	1991	稲作の起源と展開における百 越の役割	浙江農業大学 (中華人民共和国)
Thawatchai Santisuk	1991	タイ国熱帯植物文献の整理と 目録作成	Royal Forest Department (タイ)
Sukanya Nitungkorn	1991-92	教育と経済発展に関する日・ タイ比較研究	Thammasat University(タイ)
Zurniaty Nasrul	1991	インドネシア語学術資料のシ ステムに関する書誌的研究	LIPI(インドネシア)
Omar Farouk	1991-92	東南アジアのアラブ人社会	University of Malaya (マレーシア)
Reynaldo Ileteo	1991-92	東南アジアに関する図書資料 の評価研究	James Cook University (フィリピン)
Aurathai Wareesa-ard	1992-93	タイ語文献会議資料の記述に 関する研究	Srinakarinvirot University (タイ)

## B. その他の外国人学者

Kittipongse Sumipan	1990	日本の農製品の品質管理の社会的制度的諸相調査	NRCT(タイ)
Danarto	1990-91	ジャワと日本の文化の比較研究	作家 (インドネシア)
Hood Salleh	1990-91	マレーシアと日本のシャーマニズムの比較研究	National University of Malaysia(マレーシア)
Ahmat Adam	1991	マレーシア・インドネシア近代史	National University of Malaysia(マレーシア)
Vasin Chooprayoo	1991	日本からタイへの情報技術移転の傾向	Institute of Social Technology(タイ)
Prayoon Swatdee	1991	アゾーラの孢子形成に関する研究	Department of Agriculture(タイ)
Muhjidin Mawardi	1991	灌漑システムの最適調整に関する研究	Gadja Mada University (インドネシア)
Artha Nantachukra	1991-92	メコン川流域におけるラオ族慣習法の比較研究	Srinakarinvirot University (タイ)
Putu Wijaya	1991-92	現在日本の文学と文化に関するインドネシアの比較研究	Editor of <i>Tempo</i> (インドネシア)

## (2) 留学生の派遣と受け入れ

センターは東南アジア研究を志す研究者の養成と国際交流の目的で、センターの若手研究者、京都大学の大学院生、およびその他の学生、若手研究者を欧米と東南アジアに留学生として派遣し、あるいは留学の便宜をはかってきた。

また、東南アジア諸国の学生をセンターの研修員として受け入れ、その指導に当たった。1989～91年度に受け入れた外国人研究生（研修員）は次の通りである。

Moqbul Ahmed Choudhury	1989	人口学 (バングラデシュ)
Kuakun Yuenyonganant	1989-90	アユタヤ時代における国際関係史 (タイ)
Plubplung Kongchana	1989-90	〃
Dhiravant na Pombejra	1989-90	〃
Rogier Busser	1990-92	日本の直接投資 (タイを中心として)
Md. Abdur Rashid	1991-92	灌漑が稲作農耕および農村の社会・経済に与える影響
Heru Bagus Pulunggono	1991-92	ジャワの生態史とプランテーション



### 3. シンポジウム・セミナー・研究集会

東南アジア研究に関して内外の研究者とより広く意見を交換するため、これまでに数多くのシンポジウム、セミナー、ワークショップ、研究集会などが、センターの主催または他機関との共催で開かれた。1985年以降、1989年11月までに開かれたものについては、昭和62年度・平成元年度版『センター要覧』に記録されているので、それ以後の最近2年間に開催された主なものについて簡単な趣旨とプログラムを掲げておく。

#### (1) 熱帯・温帯島嶼域の稲と稲作——とくにブル稲を中心に（1990年2月7日）

アジア栽培稲の生態型のひとつであるブル稲に焦点をあてながら、東アジア・東南アジアの島嶼域の稲作の史的展開過程を考察しようとして開催された。遺伝・育種学、考古学の最近の研究動向の紹介、島嶼域の稲作文化と稲作伝播に関する報告等があり、海域をつなぐ稲作技術・文化の交流について議論が展開された。

「問題提起」	田中 耕司	「日本最南端の稲作——過去・現在・未来」
「他群品種との稔性を通じてみたブル稲の特性」	(山口大) 安溪 遊地	
(千葉大) 池橋 宏	「マレー型稲作とブル稲——海域世界の稲作」	
「『ブル稲』の地理的分布とその特性」	田中 耕司	
(遺伝研) 佐藤洋一郎	「紀元前・後1000年紀の東・南シナ海周辺地域の共通文化要素」	(國学院大) 横倉 雅幸

#### (2) 地域発展部門セミナー（1991年2月4-5日）

地域発展部門の主催により、「東南アジアの構造調整・経済改革」という主題により、セミナーを開催した。1980年代は、東南アジアにとっても「構造調整」の10年間であった。本セミナーでは、投資国である日本、社会主義国であるラオス、累積債務国であるフィリピン、そして石油経済からの脱皮を図るインドネシア、について様々な角度から報告を受け、それらをめぐって活発な討論を行なった。報告者と題名は次のとおり。

「日本の対ASEAN向け直接投資と日本の製造業の産業調整」	(東洋大) 中北 徹	「慣習経済としての都市インフォーマル部門——フィリピンを事例として」
「ラオスの経済改革——東南アジア社会主義経済研究序説一」	(東大) 原 洋之介	(国際大) 中西 徹
		「インドネシアの構造調整」
		(筑波大) 今岡日出紀

### (3) 創立25周年記念シンポジウム「東南アジア世界は問う」(1991年2月14-15日)

東南アジア研究センターは、創設当初から東南アジアの現実に密着した臨地研究という手法を心掛け、また人文・社会科学だけでなく自然科学をも加え様々な専門分野を有機的に組み合わせるというユニークな方法論をとってきた。創立25周年を記念したこのシンポジウムでは、このような方法論による研究蓄積を基盤に、「地域研究とは何か」「東南アジアは西欧起源の近代合理主義をのりこえる新しいパラダイムを提出することができるのか」という設問に答える形で、センター教授8人による問題提起があり、活発な議論が展開された。

「森の『文明』」	高谷 好一	「海域世界の論理」	前田 成文
「コメント」	(国博) 上山 春平	「コメント」	(京大) 谷 泰
「村びとの世界観——『風土の工学』の構築のために——」	海田 能宏	「小人口の世界」	坪内 良博
「コメント」	(京大) 田中 二郎	「コメント」	(民博) 松原 正毅
「『Ersatz Capitalism』論」	吉原久仁夫	「『インドネシア・インダ』考」	土屋 健治
「コメント」	(大阪市大) 末廣 昭	「コメント」	(日文研) 園田 英弘
「大陸部の構図」	福井 捷朗	「『タイ』と『タイ国』のあいだ」	矢野 暢
「コメント」	(京大) 應地 利明	「コメント」	(京大) 木村 雅昭

### (4) ラオスセミナー (1991年4月22日)

ラオスの臨地研究は、最近に至るまで実現困難であった。しかし、近年、われわれに近い研究者の数人が同国を訪れる機会があった。このセミナーでは、以下の3氏に最新情報を聞いた。

「森と稲の世界——大陸部東南アジアのエコトーン」	山田 勇	「ラオスでみたラーオ人社会——予備的考察」	(民博) 林 行夫
「(広義) タイにおけるラーオの生態的位置」	高谷 好一		

(5) 日タイ拠点大学セミナー

**“In Search of a Collaborative Framework for Southeast Asian Studies”**

(京都 1991年10月11-12日 ; 東京 10月16-17日)

日本学術振興会の「拠点大学方式による国際学術交流」プログラムによる第4回目のセミナー。今回はこれまでの日タイ研究の枠を超え、インドネシア、マレーシアからも話題提供者を迎えて、東南アジア諸国における域内近隣国に対する知的関心の変遷、今後の展望を中心に討論が行われた。

Keynote Address (京都) The Significance of Area Studies and Southeast Asia Toru Yano  
(東京) Evolution of Southeast Asian Studies in Japan

(Univ. of Tokyo) Yohnosuke Hara

A Review of Southeast Asian Studies in Thailand (Thammasat Univ.) Charnvit Kasetsiri  
Towards the Development of Southeast Asian Studies

(LIPI) Taufik Abdullah; and (LIPI) E.K.M. Masinambow

The Department of Southeast Asian Studies, University of Malaya, 1976-1991: Harnessing Its Potential (Univ. of Malaya) Shaharil Talib

Health Problems in Laos and Cambodia—Technical Cooperation and Its Prospect—

(Khon Kaen Univ.) Sastri Saowakontha

Regional Cooperation in Academic Pursuit: A Case of Southeast Asian Universities Agroecosystem Network (SUAN)

(Khon Kaen Univ.) Terd Charoenwatana

Studies on Ethnic T'ai and Thai Identity

(Chulalongkorn Univ.) Chatthip Nartsupa; and (Srinakharinvirot Univ.) Artha Nantachukra

The Role of Thai Academic Institutions in Southeast Asian Studies

(Chulalongkorn Univ.) Withaya Sucharithanarugse

(6) 「農村開発における官と民のはざま」(1991年10月26日)

農村開発における末端行政の機能と限界、開発の受け皿としての集団の単位とその組織化などに論点をしぼり、主としてバングラデシュとインドを対象に農村開発問題にアタックしている研究者・実践者によって議論が交わされた。

「趣旨説明」 海田 能宏

「コメント」(国際協力事業団) 赤松 志朗

「農村開発行政の制度と機能をめぐって」

「行政の末端と村落のリンクをめぐって」

(アジ研) 佐藤 宏

(京大) 安藤 和雄

「コメント」 (京大) 熊谷 宏

「コメント」 (農水省) 藤田 幸一

「農村開発の『受け皿』をめぐって」

「総合討論」

(国連地域開発センター) 余語 トシヒロ

#### 4. 東南アジア学フォーラム

創立25周年を契機として、新たな気持で、より多くの東南アジア地域研究者との研究交流をはかろうと、センターは、定期的な、開かれた「東南アジア学フォーラム」を企画し、その第1回のフォーラムを9月21日に芝蘭会館において、第2回を11月16日にセンターにおいて開催した。このフォーラムの趣旨は、より多くの研究者をまじえて、東南アジア学のフロンティアを語り、より鮮明な東南アジア像を模索し、またあるいは地域研究に関わる研究と教育の諸問題について情報交換をしようというものである。

##### 第1回フォーラム

「『東南アジア学』の意味」	矢野 暢
「国民国家の政治文化」	土屋 健治
「コメント」	(京大) 山室 信一
「世界単位概念の設定」	高谷 好一
「コメント」	(京大) 應地 利明

##### 第2回フォーラム

「海域世界をめぐって」	前田 成文
「コメント」	(民博) 宮本 勝
「海域世界の農業」	古川 久雄
「コメント」	(愛媛大) 荻野 和彦

なお、このフォーラムは小の月（2，4，6，9，11月）の第3土曜日の午後を定例日とし、概ね京都を会場とするが、年1，2回は東京その他に会場を移して開催する計画を立てている。また、「フォーラム通信」を年5回発行する予定。

#### 5. 研究会等

センターでは、比較的大きなシンポジウム・セミナーの他に、各種の研究会が開催されている。テーマを絞った、定期的な「研究例会」、センタースタッフ全員で進行中の共同研究を検討する「プロジェクト報告会」、センターの客員部門の外国人研究員や折々にセンターを訪問する外国人研究者による「特別研究会」などの他にも、共同研究グループ内部での検討会、少人数での定期、不定期の研究会、他の機関との共催による各種研究会（例えば、東南アジアの自然と農業研究会、東南アジア伝統農業読書会、経済発展研究会、バングラデシュ研究会）などがあり、常時センター内外の人々の出入りがたえない。

## 6. 東南アジアセミナー

東南アジアセミナーは、数十人の受講者を募り、東南アジアの自然、文化、社会等について概説し、専門的研究に必要な基礎知識を付与するため、集中的な講義及び演習を行うことを目的とし、1976年から毎年夏に開催されているものである。近年は、年ごとに異なるテーマを決め、かなり専門的な講義も含めており、受講者から好評を得ている。1990、91年度のセミナーのテーマ、講義題目、講師の一覧を掲げておく。

### 1990年度

#### テーマ「タイ経済を考える——タイからの視点」(7月9-14日)

「開講にあたって」	吉原久仁夫	Technology and Industrialization	
「タイの『近代』」	矢野 暢	(チュラロンコン大学) Prayoon Shiwattana	
「歴史的背景」	(上智大学) 石井 米雄	Science and Technology Policy	
Thai Society and Economy		(タマサート大学) Likhit Dhiravegin	
(筑波大学) Prasert Yamklifung		Public Finance in Thailand	
「人口とエスニシティ」	坪内 良博	(タマサート大学) Varakorn Samakoses	
Thai Agriculture: Resources, Institutions and		「政策決定と財界」	玉田 芳史
Policies		「経済政策と所得分配」	池本 幸生
(タイ開発研究所) Ammar Siamwalla		Will Thailand Become a NIC?	
「農村と農業」	海田 能宏	(タイ開発研究所) Snoh Unakul	
「経済成長と構造変化」	江崎 光男	「経済発展への学際的接近」	吉原久仁夫
Trade and Industrialization		〔総合討論〕	吉原久仁夫ほか
(タマサート大学) Somsak Tambunlertchai			
「企業集団の経営改革」			
(大阪市大) 末廣 昭			

### 1991年度

#### テーマ「自然・開発・文明——東南アジアからの視座」(9月2-7日)

「あいさつ」	矢野 暢	「熱帯低地の開拓空間」	田中 耕司
「開講にあたって」	山田 勇	「東南アジアの人口生態」	五十嵐忠孝
「自然と開発」	福井 捷朗	「東南アジアの林地利用」	阿部 健一
「開発の政治学」	玉田 芳史	「東南アジアの精神世界」	土屋 健治
「経済開発と開発政策」	高阪 章	「森の『文明』」	高谷 好一
「風土の工学」	海田 能宏	〔総合討論〕	セミナー委員他
「熱帯多雨林世界」	山田 勇		

## 7. 資料収集および情報処理

東南アジアの研究を深化、発展させるために各種の資料収集がとりわけ重要なことは言うまでもない。1965年に図書室が開設されて以来、東南アジア地域にかかわる専門書を中心に収集を進めてきた結果、1991年3月現在58,695冊（洋書44,960冊、和漢書13,735冊）を登録し、所蔵するにいたった。研究資料としては次のような特記すべき資料がある。

### (1) 現地語資料

1983年度以来、東南アジア諸地域の言語で出版された文献の組織的収集を目指して、特別予算の要求を行なっている。まず最初の5カ年収集計画が終わり、現在第二次10カ年計画の第4年度が進行中である。この計画により、整理済で配架されている現地語図書資料の内訳の概数は、1991年10月現在で次の通りである。

正規の分類：タイ語3,450冊、インドネシア語2,160冊、マレー語200冊、ビルマ語210冊、その他10冊、特殊コレクション（別置）：フォロンダ・コレクション7,000冊、チャラット・コレクション9,000冊、ベトナム語2,200冊。特に、タイ語文献の「チャラット・コレクション」、およびフィリピンに関する「フォロンダ・コレクション」は世界に誇るコレクションである。

また、1986年度からは、東南アジア諸語文献研究部門が新設され、東南アジアから書誌学者やカタログガーを招聘することができるようになったので、彼らの協力によりこれらの資料の整理もできるようになった。「チャラット・コレクション」については3巻よりなる冊子体の目録も完成した。今後もさらに充実した収集を目指している。

### (2) マイクロフォーム

1971年以降、「インドネシア関係文献マイクロフィッシュ」の一部を継続的に購入したのを始め、その後機会のあるごとにその充実をはかってきた。この結果、現在までにマイクロフィルム約3,400リール、マイクロフィッシュ約4,000ケースが納められている。このうち、フィルムは、東南アジア諸国統計資料、インドシナ三国近・現代史資料、第2次大戦下の東南アジア関係資料などを含み、フィッシュは、コーネル大学およびオランダ王立言語民族文化研究所が所蔵するインドネシア関係資料を主としている。

### (3) 雑 誌

センターで登録されている定期刊行物は洋雑誌579, 和雑誌264を数える。このうち東南アジアを専門に対象とする雑誌は, 創刊号から揃っている *BEFEO* をはじめとして50タイトル以上に及ぶ。東南アジアを含むアジア一般, 熱帯, 開発に関するタイトルは43点である。このほかすでに刊行されていない雑誌もかなりあり, 東南アジア関係では有名な Logan の *JIAEA* や *Djawa* をも含めて18タイトル, アジア関係では, London から出た *Asiatic Quarterly Journal* 及びその後身 (1886—1912) や *Mondes Asiatiques* など12タイトルある。これらの地域関係雑誌の多くは欧米発行のものであるが, 東南アジアの大学・研究機関の刊行する雑誌も増えてきており, それらはできるだけ収集するように努めている。その他 *Tempo*, *Prisma*, *Tenggara* などのような各国語の週刊誌, 総合雑誌, 文芸批評誌も定期購読している。

### (4) 統 計

東南アジア, 東アジア諸国の政府刊行物, および国際機関の刊行物を中心に, 年刊, 季刊, 月刊の逐次刊行物を, 購入または寄贈の刊行物として蒐集している。このうち購入は, 年刊が35タイトル, 季刊と月刊の両方で16タイトルである。その他に東南アジア各国のセンサスを, 刊行の都度可能な限り蒐集している。国民所得, 財政, 金融, 貿易, 労働, 人口など経済統計が大半で, 国別ではインドネシアが多い。

### (5) 地 図

所有する地図は東南アジア地域を中心に, インド, バングラデシュ, スリランカ, ネパール, パキスタン, 中国, 朝鮮, オーストラリア, 太平洋諸島及び日本周辺と, はほぼ南アジアから東アジア全域をおおっている。製作年代も, 戦前のものから近年の航空測量によるものまで, 多岐にわたっており, 現在約2万5千枚余に及んでいる。この中には, 旧陸地測量部による南アジア, 東南アジア, 東アジアの2万5千分の1, 5万分の1地形図等, 歴史的にみても貴重なコレクションもある。また, 数は少ないが, 東南アジア各国の土地利用図, 地質図, 植生図などの主題図も含まれている。

### (6) ランドサット写真

1978年からランドサット写真の収集をはじめ, 現在約3,200シーンの写真を蔵している。

収集地域は、濃淡はあるものの、東南アジア全域（とくにインドシナ、タイ、フィリピンなどが多い）、インド亜大陸東半分からバングラデシュ全域、南中国の一部及び日本の一部である。可能なかぎり2季節以上のシーンを選んでいる。100万分の1の白黒ポジフィルム（バンド4、5及び7）を中心に集めており、必要に応じてジアゾフィルム現像機でフォールスカラー合成画像をつくり、製版用カメラで拡大カラープリントをつくるなどの方法で利用されている。

### （7） 情報処理

計算機室では、研究活動を支援するために、端末装置やパーソナルコンピュータを揃えている。所員や外国人研究者が統計処理や文書処理をするために利用するほか、利用に当たっての相談にも応じている。

現在計算機室で利用可能な機器としては、

- (1) 大型計算機センターの端末2台
- (2) IBM パーソナルコンピュータ3台
- (3) NEC パーソナルコンピュータ3台
- (4) EPSON パーソナルコンピュータ2台（タイ文字を扱える）
- (5) SONY ワークステーション1台（電子メール機能が使える）

がある。

また、計算機室外にも次のような機器があり、利用可能である。

- (1) TOSHIBA 携帯型パーソナルコンピュータ3台
- (2) デジタイザ、図面の入力に用いる
- (3) プロッタ、図面の出力に用いる

## 8. 出版

東南アジア研究センターにおけるさまざまな研究活動の成果は、センターが刊行する出版物を通じて発表されている。センターは、1963年以来『東南アジア研究』（年4回刊行）を出版しているほか、和文・英文の叢書、シンポジウムの報告や科学研究費その他各種奨学金などによる研究の報告書等を含む報告書シリーズ、リプリント・シリーズ、ディスカッション・ペーパー等を刊行している。また、1979年度以来、センター・ニューズレター



を年2回発行し、研究活動等の広報を行なっている。

『東南アジア研究』は現在29巻3号（通巻118号）になっており、所収論稿は膨大な数にのぼる。第1号から23巻4号までに掲載された論文、研究ノート、書評などの全ての報告は、『東南アジア研究』別冊（23巻5号）に総目録として収録されている。また、リプリント・シリーズ、ディスカッション・ペーパーは『昭和62年度版センター要覧』に、叢書、『東南アジア研究』（24巻1号以降）、及び報告書シリーズは第5章「出版目録」にその一覧を掲げているので、ご参照いただきたい。

## 第4章 研究スタッフ

東南アジア研究センターの現職研究スタッフの略歴、現在の研究テーマ、主要な研究業績などを紹介する。各研究スタッフは、研究部門では生態環境部門、社会生態部門、統合環境部門、地域発展部門、人間環境部門、地域研究第二客員部門、続いて資料部の順に配列されており、1.最終学歴、2.学位、3.専門分野、4.現在の研究テーマ、5.略歴、6.主要な研究業績の順である。

### 1. 研究部門

#### 生態環境部門

##### 高谷 好一

1. 京都大学理学部, 1958.
2. 京都大学理学博士, 1963.
3. 自然地理学
4. 東南アジアの自然環境と土地利用
5. 1967年, 東南アジア研究センターに助手として採用され, 同年, 助教授, 1975年教授に昇任。1981年より京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻教授を兼任, 現在に至る。

過去の研究・調査は、農業を対象としてきたが、主な海外調査には次のものがある。1966～67年タイ中央平原, 1968年インド東岸, 1968～69年タイ中央平原, 1970～71年ミシシッピ、アマゾン、ナイル、チグリス・ユーフラテス等のデルタ, 1972年地中海水田地帯, 1973年イラワジ・デルタ, 1974年東北タイ, 1975年ネパール, 1976年ビルマ, 1978年フィリピン, 同年スマトラ, 1980～81年スラウェシ, 1982～83年スリランカ, 1984年スマトラ, 1986～87年マダガスカル, 1988年メラネシア, 1990年中国南部, 1991年中国西部。

- 6.(1) “Geomorphology, Hydrology and Rice Cultivation in the Chao Phraya Delta of Thailand,” *JARQ*, 18(3), 1985.
- (2) 『東南アジアの自然と土地利用』勁草書房, 1985.
- (3) 「東南アジアの生態史的枠組」石井米雄(編)『東南アジア世界の構造と変容』創文社, 1986.
- (4) 「水田が拓かれるとき」佐原真(編)『豊饒の大地』集英社, 1986.
- (5) “Sago Production at Desa Tanjung, Riau, Sumatra,” in *Proceedings of 3rd Sago Symposium*, Tokyo, 1986.
- (6) 「熱帯多雨林沿岸部の生活」『東南アジア研究』24(3), 1986.
- (7) 「アジア稲作の生態構造」渡部忠世・福井捷朗(共編)『稲のアジア史』第1巻, 小学館, 1987.
- (8) 「東南アジア大陸部の稲作」渡部忠世・高谷好一(共編)『稲のアジア史』第2巻, 小学館, 1987.
- (9) *Agricultural Development of a Tropical Delta*, University of Hawaii Press, 1987.

- (10) 「ロンボク島の高地の伝統稲作」(共編)『東南アジア研究』26(1), 1988.
- (11) *Madagascar: Perspective from the Malay World*(編)(文部省科研費報告書), 1988.
- (12) 『水田遺構集成』(編)(文部省科研費報告書), 1988.
- (13) 『伝統農業フィールドノート集』第一巻, (共編)農耕文化研究振興会, 1988.
- (14) 「掛け流し傾斜水田の事例」『農耕の技術』11, 1988.
- (15) 『マングローブに生きる』(NHKブックス), 1988.
- (16) 「新生態史観モデルを求めて」『中央公論』4月号, 1989.
- (17) 『コメをどう捉えるのか』(NHKブックス), 1990.
- (18) 「文明流とその培地」矢野暢(編)『東南アジア学の手法』(講座・東南アジア学第1巻)弘文堂, 1990.
- (19) 「東南アジア史のなかの生態」石井米雄(編)『東南アジアの歴史』(講座・東南アジア学第4巻)弘文堂, 1991.
- (20) "People and Settlement in Tropical Lowland, with Special Reference to Their Unstability,"『東南アジア研究』28(4), 1991.

## 古川 久雄

- 1. 京都大学農学部, 1963.
- 2. 京都大学農学博士, 1973.
- 3. 熱帯農業環境
- 4.(1) 東南アジア低湿地の利用と保全
- (2) アジア伝統農業の生態構造
- (3) 熱帯土壌生成
- 5. 1967年, 京都大学農学部助手に採用される。1978年, 東南アジア研究センター助教授, 1989年同教授に昇任, 現在に至る。1981年より京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻助教授, 1989年より同教授を兼任。

1963年以降, 以下の諸国にて水田土壌の調査を行う; 1963~64年タイ, 1964~65年タイ, マレーシア, 1970年インドネシア(ジャワ), 1978年韓国。さらに, 1978年南スマトラ, 1979年ジャワ島, 1980~81年南スラウェシ, 1983年スマトラ東岸低湿地帯, 1984年リアウなど, インドネシア各地で農業景観の変貌等について調査に従事。1981~82年にはIRR Iにて, カガヤン溪谷における多毛作化の調査を行う。また, 1982年には南インド, スリランカでも農業景観の変貌について調査を実施した。1985年, 1987年東北タイの塩類土壌調査。1986年マダガスカル, 1988年メラネシアでマレー型農耕文化の系譜を研究。1989年インドネシア低湿地調査, 同じくイラン, トルコ乾燥地帯稲作調査。

- 6.(1) 「ニューアイルランド島における土壌地理的観察」『東南アジア研究』11(4), 1974.
- (2) 「近畿地方低地部における土壌の分布則および分布単位に関する事例研究」『ベドロジスト』20, 1976.
- (3) "Chemical, Mineralogical and Micro-Morphological Properties of Glaebules in Some Tropical Lowland Soils," (共著)『東南アジア研究』14(3), 1976.
- (4) 「土壌中主要12元素の蛍光X線迅速定量法」『日本土壌肥科学会』49(2), 1978.
- (5) 「南スラウェシの稲作景観」『東南アジア研究』20(1), 1982.
- (6) 「ルソン島の陸稲栽培」『農耕の技術』5, 1983.
- (7) 「踏耕の系譜」(共著)渡部忠世(編)『南西諸島農耕における南方的要素』(科学研究費報告書)東南アジア研究センター, 1982.
- (8) "Land Use and Soil Catena in Jeneponto Area of South Sulawesi,"『東南アジア研究』20(4), 1983.
- (9) 「フィリピンの農業と農民」『国際農林

業協力』6(2), 1983.

- (10) 「愛知川扇状地の土壌層序」Ⅰ, Ⅱ (共著)『ペドロジスト』27, 1983; 29, 1985.
- (11) 「東南アジア低湿地の地形」『東南アジア研究』21(4), 1984.
- (12) 「バタンハリ川流域低湿地の農業景観Ⅰ. 地形と層序」(共著)「同Ⅱ. 農業景観の展開」『東南アジア研究』23(1), 1985; 24(1), 1986.
- (13) “A Study of Floral Composition of Peat Soil in the Lower Batang Hari River Basin of Jambi, Sumatra,” (共著)『東南アジア研究』24(2), 1986.
- (14) 「マダガスカルの伝統農業と変革への展望」『国際農林業協力』9(4), 1987.
- (15) “Stratigraphic and Geomorphic Studies of Peat and Giant Podzols in Brunei I. Peat, II. Giant Podzols,”『ペドロジスト』32, 1988.
- (16) 「小区画水田の系譜——オアシス農耕文化の道」(科学研究費報告書) 東南アジア研究センター, 1988.
- (17) 「マダガスカル乾燥地帯の土地利用」『東南アジア研究』26(4), 1989.
- (18) “Salt and Sinkhole—Corrosion as a Principal Factor Governing Topography and Mass Movement in Northeast Thailand—,” (共著)『東南アジア研究』27(1), 1989.
- (19) 「農耕文化の伝播と適応」矢野暢(編)『東南アジア学の手法』(講座・東南アジア学第1巻) 弘文堂, 1990.
- (20) 「大陸と多島海」高谷好一(編)『東南アジアの自然』(講座・東南アジア学第2巻) 弘文堂, 1990.

## 山田 勇

- 1. 京都大学農学部, 1966.
- 2. 京都大学農学博士, 1979.

## 3. 森林生態学

- 4.(1) 東南アジア熱帯多雨林の森林構造
- (2) 地球生態系における東南アジアの位置づけ
- (3) 熱帯林生態系における人と自然のかかわり
- 5. 1975年, 東南アジア研究センターに助手として採用される。1980年農林水産省関西林木育種場, 1981年同関東林木育種場室長をへて, 1988年より, 東南アジア研究センター助教授。京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻助教授を兼任。  
1965年以降, 以下の海外研究活動を行う。  
1965年タイ, カンボジア, マレーシアの植物調査, 1968~70年インドネシアの森林調査, 1976年インドネシアの森林調査, 1977年タイ, マレーシア生態調査, 1978年フィリピン生態調査とインドネシア調査, 1979年北米山林調査, 1982, 1983, 1984~87年までブルネイ森林調査, 1988年北米及び中米の森林調査, 1988~89年バプアニューギニア, インドネシアの低湿地調査, 1990年タイ, インドネシア, 中国, 1991年マレーシア, タイ, ラオス, 中国の生態調査。
- 6.(1) 「伐採跡地の植生遷移」(共著)『一次生産の場となる植物群集の比較研究』, 1968.
- (2) “Forest Ecological Studies of the Montane Forest of Mt. Pangrango, West Java(I) Stratification and Floristic Composition of the Montane Rain Forest near Cibodas,”『東南アジア研究』13(3), 1975.
- (3) “同(II) Stratification and Floristic Composition of the Forest Vegetation of the Higher Part of Mt. Pangrango,”『東南アジア研究』13(4), 1976.
- (4) “同(III) Litter Fall of the Tropical Montane Forest near Cibodas,”『東南アジア研究』14(2), 1976.

- (5) “同 (IV) Floristic Composition along the Altitude,”『東南アジア研究』15(2), 1977.
- (6) 『熱帯の有用樹種』(共著) 熱帯農学研究センター, 1978.
- (7) “Ecological Study of Mangrove and Swamp Forests in South Sumatra,”(共著) in *South Sumatra, Man and Agriculture*, CSEAS, Kyoto Univ., 1980.
- (8) 「西ジャワパングランゴ山山地林における落葉落枝などの季節変化」『東南アジア世界』創文社, 1980.
- (9) 「焼畑における植生遷移と物質循環」『海外学術調査コロキウム』, 1981.
- (10) 「熱帯林の現状からみた林木育種のあり方」『林木の育種』特別号, 1982.
- (11) 「熱帯林木育種の視点」『林木の育種』124, 1982.
- (12) 「東南アジアの低湿地林1. マングローブ」『東南アジア研究』21(2), 1983.
- (13) 「同2. マングローブの分布」『東南アジア研究』21(3), 1983.
- (14) 「同3. 淡水湿地林」『東南アジア研究』21(4), 1984.
- (15) 「同4. 泥炭湿地林」『東南アジア研究』22(2), 1984.
- (16) 『東南アジアの低湿地』(共著) 農林統計協会, 1986.
- (17) *Report on the Forest Research in Negara Brunei Darussalam from 1984 through 1986*, JICA, 1987.
- (18) *The Changing Pattern of Vertical Stratification along an Altitudinal Gradient of the Forests of Mt. Pangrango, West Java*, Kluwer, 1990.
- (19) 「多雨林の世界」高谷好一(編)『東南アジアの自然』(講座・東南アジア学第2巻) 弘文堂, 1990.
- (20) 『東南アジアの熱帯多雨林世界』創文

社, 1991.

## 阿部 健一

1. 京都大学農学部, 1984.
2. 京都大学農学修士, 1986.
3. 森林生態学
4. (1) 樹上性節足動物群集の比較研究  
(2) 淡水湿地林・マングローブ林の生態
5. 1989年, 東南アジア研究センター助手に採用され, 現在に至る。1981~1983年, サバ州立森林研究所にて, 森林昆虫の個体群動態調査。以後1985年サバ, 1986年マルク, 1988年タイ及びジャワ・バリで樹上性節足動物の調査を行なった。ほかに1985年と1986年にジャワ島で村落調査に従事し, 1987年海南島, 1988年スマトラ・タイで伝統的森林利用の調査を行なっている。
6. (1) “Plantation Forest Pests in Sabah,” FRC Publication No. 8, Sandakan, Sabah, 1983.  
(2) “Comparative Study on Arboreal Arthropod Communities in Contrasting Tropical Forests,” 京都大学農学研究科修士論文, 1987.  
(3) “Reproductive Behavior of the Albizia Borer, *Xystrocera festiva* (Coleoptera: Cerambycidae)” (共著), in *Studies of the Behavior and the Life-cycle Strategies of Arboreal Insects in the Humid Tropics*, Kyoto University, 1987.  
(4) 「ブカラランガン内での農業生産」『東南アジアにおける「地域農業」の開発に関する研究』総合研究開発機構, 1987.  
(5) “Arboreal Arthropod Community of Mangrove Forest in Halmahera, Indonesia,” in *Biological System of Mangrove, a Report of East Indonesian Mangrove Expedition*, Ehime University, 1988.

## 社会生態部門

坪内 良博

1. 京都大学文学部, 1960.
2. 京都大学文学博士, 1970.
3. 社会学, 人口学
4. 東南アジアの社会と人口
5. 1966年, 東南アジア研究センター助手。  
1970年, 同助教授, 1982年, 同教授。  
1968~69年, プリンストン大学などで人口学  
に関する研修。東南アジア各地（とくにマ  
レーシアおよびインドネシア）において現地  
調査に従事する。
- 6.(1) 『離婚——比較社会学的研究』（共著）  
創文社, 1970.  
(2) 「東海岸マレー農民における土地と居  
住」『東南アジア研究』10(1), 1972.  
(3) 「東海岸マレー農民における結婚と離  
婚」『東南アジア研究』10(3), 1972.  
(4) 「クランタンの農村におけるポンド（寄  
宿宗教塾）」『東南アジア研究』11(2),  
1973.  
(5) 「マレー農村におけるイスラームと離  
婚」『東南アジア研究』13(1), 1975.  
(6) “Marriage and Divorce among Malay  
Peasants in Kelantan,” *Journal of  
Southeast Asian Studies* (Singapore), 6(2),  
1975.  
(7) 『マレー農村の研究』（共編著）創文社,  
1976.  
(8) “Islam and Divorce among Malay  
Peasants,” in S. Ichimura (ed.), *Sou-  
theast Asia: Nature, Society and Develop-  
ment*, University Press of Hawaii, 1977.  
(9) 『核家族再考——マレー人の家族圏』（共  
著）弘文堂, 1977.  
(10) 「日本人の目からみたインドネシア人勤  
労者」『東南アジア研究』15(2), 1977.

- (11) 「コムリン川流域およびムン川下流部に  
おける集落形成史」『東南アジア研究』17  
(3), 1979.
- (12) *Three Malay Villages: A Sociology of Pad-  
dy Growers in West Malaysia*, (共著)  
University Press of Hawaii, 1979.
- (13) “On the High Population Growth Rates  
of the Past in South Sumatra,” (共著)『東  
南アジア研究』19(1), 1981.
- (14) “Traditional Migration Patterns in  
Southeast Asia and Their Survival,” *Jour-  
nal of Population Studies (Jinkogaku  
Kenkyu)*, 6, 1983.
- (15) 「東南アジアにおける人口と伝統的基礎  
社会の性格——島嶼部を中心として」『東  
南アジア研究』21(1), 1983.
- (16) 「東南アジア島嶼部における『小国』の  
存在形態に関するノート」『東南アジア研  
究』22(1), 1984.
- (17) 『東南アジア人口民族誌』勁草書房,  
1986.
- (18) 「マレー農村人口の変動的性格について  
——クランタン・ガロック村開拓後史」『東  
南アジア研究』25(3), 1987.
- (19) 『東南アジアの社会』（講座・東南アジ  
ア学第3巻）（編著）弘文堂, 1990.
- (20) “A Re-examination of Raffles’s  
Statistics on the Population of Java in the  
early Nineteenth Century,”『東南アジア  
研究』28(4), 1991.

前田 成文

1. 京都大学文学部, 1963.
2. シカゴ大学 Ph. D. (人類学), 1974.
3. 文化人類学
- 4.(1) マレー世界の社会と文化（とくに種族間  
の共生をめぐる）  
(2) 社会システムと生活世界
5. 1964年, マラヤ大学マレー学科に留学。

1965年初頭に Kedah 州農村の臨地研究を3ヵ月行なった後、同年7月から翌年5月までジョホール州でオラン・フルの民族誌的研究に従事する。1967年から2ヵ年間、マラヤ大学において日本学講座の講師を勤めた後、1969年にセンターに奉職。1971年から1年間、マラカ州の農村で主として社会経済的なデータに基づいて、家族、世界観の研究を行う。1974年から75年にかけて南ベトナムのメコン・デルタの農村のリーダーシップの調査。同年11月から翌年3月までインドネシア、南スラウェシの調査。南スラウェシの調査は1980年に再び開始し、1984年まで3次にわたって、主として非ムスリム教徒も住む平地村落で調査を継続する。その他、リアウ、スリランカ、南インド、マダガスカル、メラネシア、中国でも短期間のサーベイを行う。1977年から79年にかけてジャカルタの日本大使館に勤務。

6. (1) 「マレー半島におけるジャクンの親族名称」『東南アジア研究』4(5), 1967.
- (2) 「マラヤにおけるジャクンの家族構成の特質」『東南アジア研究』5(3), 1967.
- (3) 「ジャクン (オラン・フル) の結婚と離婚」『東南アジア研究』6(4), 1969.
- (4) 「マラヤ原住民の経済生活」『アジア経済』10(5), 1969.
- (5) 「ジャクン・コミュニティの社会秩序」『東南アジア研究』7(3), 1969.
- (6) 「双系の親族組織におけるイトコ婚」『東南アジア研究』10(4), 1973.
- (7) “The Aftereffects of Hajj and Kaan Buat,” *Journal of Southeast Asian Studies* (Singapore), 6(2), 1975.
- (8) “Family Circle, Community and Nation in Malaysia,” *Current Anthropology*, 16, 1975.
- (9) 『マレー農村の研究』(共編著) 創文社, 1976.

- (10) 「コミュニティ宗教におけるシンボリズム」『東南アジア研究』14(3), 1976.
- (11) 『核家族再考——マレー人の家族圏』(共著) 弘文堂, 1977.
- (12) “The Malay Family as a Social Circle,” 『東南アジア研究』16(2), 1978.
- (13) 「屋敷地共住集団と家族圏」(共著)『東南アジア研究』18(2), 1980.
- (14) 「生活環境と社会組織——南スラウェシの一山村誌」『東南アジア研究』20(1), 1982.
- (15) 「稲作儀礼雑観」渡部忠世(編)『南西諸島農耕における南方的要素』京都大学東南アジア研究センター, 1982.
- (16) “A Melakan Farming Village,” in P. Wheatley and K. S. Sandhu (eds.), *Melaka: The Transformation of a Malay Capital c. 1400-1980*, Oxford University Press, 1983.
- (17) 「マレーシアの家族」原ひろ子(編)『諸文化と家族』至文堂, 1983.
- (18) 「差異の文化論」石井米雄(編)『差異の事件誌——植民地時代の異文化認識の相克』巖南堂, 1984.
- (19) 「世帯と親族」石井米雄(編)『東南アジア世界の構造と変容』創文社, 1986.
- (20) 『東南アジアの組織原理』勁草書房, 1989.

## 加藤 剛

1. 一橋大学社会学部, 1966.
2. コーネル大学 Ph. D., 1977.
3. 比較社会学
4. (1) 植民地主義との遭遇：聞き取り法に基づく村落レベルの社会史の再構築
- (2) 東南アジア都市の生活世界：歴史人類学的接近
- (3) ミナンカバウ母系制社会の変容：西スマトラ、クアンタン、ヌグリ・スンビランの

比較研究

5. 1977年, 上智大学外国語学部比較文化学科講師に採用される。1979年, 東南アジア研究センター助教授に採用され, 1991年, 同教授に昇任, 現在に至る。

1972~73年インドネシア・西スマトラ州においてミナンカバウ社会の変容に関する調査, 1973~74年南部スマトラにおいて地域開発における伝統的村落指導者の役割に関する調査, 1980~81年ジャカルタ都市移住民の調査, 1982年スマトラ・リアウ州においてエコロジーと種族的環境適応に関する調査, 1984~85年, 1990年リアウ州・クアンタンにおいて, 1986~87年, 1988年, 1988~89年, 1990年, 1991年マレーシアのヌグリ・スンビラン州において, それぞれ村落社会史に関する調査を行う。

6. (1) "Change and Continuity in the Minangkabau Matrilineal System" *Indonesia*, 28(April), 1978.  
 (2) 「西部スマトラ・ミナンカバウの社会構造」早稲田大学社会科学研究所 (編)『インドネシア』早稲田大学出版局, 1979.  
 (3) "Rantau Pariaman: The World of Minangkabau Coastal Merchants in the Nineteenth Century," *Journal of Asian Studies*, 39(4), 1980.  
 (4) 「矛と盾? ——ミナンカバウ社会にみるイスラームと母系制の関係について」『東南アジア研究』18(2), 1980.  
 (5) *Matriliney and Migration: Evolving Minangkabau Traditions in Indonesia*, Cornell University Press, 1982.  
 (6) 「都市と移住民: ジャカルタ在住ミナンカバウの事例」『東南アジア研究』21(2), 1983.  
 (7) 「ミナンカバウ社会について」ムハマッド・ラジャブ (著), 加藤剛 (訳)『スマトラの村の思い出』めこん, 1983.

- (8) "Typology of Cultural and Ecological Diversity in Riau, Sumatra," in N. Maeda and Mattulada (eds.), *Transformation of the Agricultural Landscape in Indonesia*, CSEAS, Kyoto Univ., 1984.  
 (9) 「インドネシアの民俗と文化」『国際農林業協力』8(2), 1985.  
 (10) 「インドネシアの都市にみる種族結合: ネットワークと同郷会」『東南アジア研究』23(4), 1986.  
 (11) 「都市のなかの『むら』——ジャカルタにみる婚姻形態——」石井米雄 (編)『東南アジア世界の構造と変容』創文社, 1986.  
 (12) "The Koto is Created with Consensus: Adat Community and Administrative Reorganization in Kuantan, Riau," in T. Kato, M. Lutfi and N. Maeda (eds.), *Environment, Agriculture and Society in the Malay World*, CSEAS, Kyoto Univ., 1986.  
 (13) "Agricultural Rituals and Rice Cultivation in Negeri Sembilan: A Reconstruction from Oral History," 『東南アジア研究』26(2), 1988.  
 (14) "Different Fields, Similar Locusts: Adat Communities and the Village Law of 1979 in Indonesia," *Indonesia*, 47(April), 1989.  
 (15) *Nasab Ibu dan Merantau: Tradisi Minangkabau Yang Berterusan di Indonesia* (trans. by Azizah Kassim), Dewan Bahasa dan Pustaka, 1989.  
 (16) 「都市のなりたち」矢野暢 (編)『東南アジア学の手法』(講座・東南アジア学第1巻) 弘文堂, 1990.  
 (17) 「『エスニシティ』概念の展開」坪内良博 (編)『東南アジアの社会』(講座・東南アジア学第3巻) 弘文堂, 1990.  
 (18) 「母系制社会の人口動態: ミナンカバウとヌグリ・スンビランの比較」坪内良博



(編)『集落人口の性格と変動に関する比較社会学的研究』京都大学東南アジア研究センター, 1991.

(19) 「イスラームとの出会い——スマトラの村の生活——」第5回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会(編)『都市文明イスラームの世界——シルクロードから民族紛争まで——』クバプロ, 1991.

(20) “When Rubber Came: The Negeri Sembilan Experience,”『東南アジア研究』29(2), 1991.

## 五十嵐忠孝

1. 東京大学医学部, 1970.

2. 東京大学保健学修士, 1972.

3. 人類生態学

4.(1) 小人口学

(2) 栄養と生業機構

5. 1975年, 東京大学医学部保健学科助手に採用される。1982年, 群馬大学医学部助教授に昇任, 1984年, 東南アジア研究センターに配置換えとなり, 現在に至る。

1970~73年, トカラ列島でヒトの個体群生態学的調査, 1974~75年, 韓国の一農村で人口移動の調査, 1978年以降, インドネシア西ジャワ州のスンダ人村落で小人口学, 栄養と生業機構に関する調査などに従事する。

6.(1) “Change in Daily Activity Patterns during the Ramadan in an Islamic Society,” in *Proceedings of the Second International Symposium on Asian Studies, 1980*, Vol. II, Asian Research Service, Hong Kong, 1981.

(2) 「個人年齢の推定方法に関する若干の覚え書き——西部ジャワ・スンダ人村落での調査から」『東南アジア研究』20(2), 1982.

(3) “Seeking the Dates of Birth of Children: An Age-Estimation Method that Combines Dental Age with Indigenously Expressed “Time of Birth” for Use in

Priangan, West Java,” in *Proceedings of the Fourth International Symposium on Asian Studies, 1982*, Vol. III, Asian Research Service, Hong Kong, 1983.

(4) 「漁撈と農耕の比較生態——西部ジャワ・ブリアガン地方での調査から」大塚柳太郎(編)『生態人類学』至文堂, 1983.

(5) “Locality-Finding in Relation to Fishing Activity at Sea,” in Béla Gunda(ed.), *The Fishing Culture of the World: Studies in Ethnology, Cultural Ecology and Folklore*, Akademiai Kiado, Budapest, 1984.

(6) 『インドネシア人類生態学調査集成』(共編)日産科学振興財団, 1984.

(7) 「西ジャワ・ブリアガン高地における水稻耕作——若干の人類生態学的観察」『農耕の技術』7, 1984.

(8) 「西ジャワ・ブリアガン高地の食糧資源と人口」小石秀夫・鈴木継美(共編)『栄養生態学』恒和出版, 1984.

(9) 「インドネシアの人口, 出生, 死亡」『医学のあゆみ』132, 1985.

(10) *Human Ecological Survey in Rural West Java in 1978 to 1982: A Project Report*, (共編著) Nissan Science Foundation, Tokyo, 1985.

(11) “Some Biosocial Variables That May Account for Fertility Patterns in the Sundanese Society,” in *Health Ecological Survey in Indonesia in 1983/84*, Part 1, Department of Public Health, Gunma University, 1985.

(12) “Biosocial Variables Affecting Sundanese Fertility, West Java,” *Man and Culture in Oceania*, 3, 1987.

## 統合環境部門

### 矢野 暢

1. 京都大学法学部, 1959.
2. 京都大学法学博士, 1970.
3. 政治学, 地域研究論
4. (1) タイ国の現代政治史  
(2) 東南アジアの国家構造  
(3) 近代日本の南方関与
5. 1966~68年、大阪外国語大学タイ語科専任講師、1968~72年、広島大学助教授。その間、1968~69年、米国ジョージ・ワシントン大学客員準教授として、東南アジア国際関係の研究に従事する。1972年、東南アジア研究センター助教授、1978年、同教授に昇進、現在に至る。1990年より東南アジア研究センター所長。

1964~66年、タイ国南部のタイ・イスラム農村に単身定着調査を行なったのはじめ、タイ国を中心に、東南アジアの各地で、今日まで数次にわたる現地調査を行なっている。そして、独創的な国家論を中心に、生態的な政治学を開拓し、旧来の政治学に新しい次元をひらいた。また、体系的な東南アジア学の構築にも関心をもち、「地域」認識のパラダイムをもとめて、理論的模索を重ねている。

1990年1月、わが国の社会学者として初めてスウェーデン王立科学アカデミー会員に選任された。

6. (1) 「南タイの土地所有——タイ・イスラム村落におけるケース・スタディ」『東南アジア研究』4(5), 1967.  
(2) 『タイ・ビルマ現代政治史研究(付録「タイ・ビルマ現代政治史史料集纂」)』創文社, 1968.  
(3) 「南タイにおける通婚圏の形成」『東南アジア研究』7(4), 1970.  
(4) 「南タイ農村民の村外居住体験について」『東南アジア研究』8(2), 1970.

- (5) 「南タイ農村の経済生活」『東南アジア研究』8(4), 1971.
- (6) 「タイ国の政治指導の特性——サリット『革命団布告』を主題に」『アジア経済』12(7), 1971.
- (7) 「南タイ農村の発展史的把握(一)——派生村形成の社会過程」『東南アジア研究』12(1), 1974.
- (8) 『「南進」の系譜』中央公論社(中公新書), 1975.
- (9) 「タイにおける『革命団布告』の政治機能——73年『10月政変』の背景についての一考察」『東南アジア研究』12(4), 1975.
- (10) 『日本の南洋史観』中央公論社(中公新書), 1979.
- (11) 『東南アジア世界の論理』中央公論社(中公叢書), 1980.
- (12) 「タイ国における『郡長』の政治機能——《ラーチャカーン》の政治的本質との関連で」『東南アジア研究』18(2), 1980.
- (13) 『南北問題の政治学』中央公論社(中公新書), 1982.
- (14) 『東南アジア世界の構図』日本放送出版協会(NHKブックス), 1984.
- (15) 『冷戦と東南アジア』中央公論社, 1986.
- (16) 『講座政治学 IV, 地域研究』(編著)三嶺書房, 1987.
- (17) 『ノーベル賞——二十世紀の普遍言語』中央公論社(中公新書), 1988.
- (18) 『東南アジア学の手法』(講座・東南アジア学第1巻)(編著)弘文堂, 1990.
- (19) 『東南アジアと日本』(講座・東南アジア学第10巻)(編著)弘文堂, 1991.
- (20) 『東南アジアの国際関係』(講座・東南アジア学第9巻)(編著)弘文堂, 1991.

### 土屋 健治

1. 東京大学教養学部, 1966.
2. 東京大学社会学博士, 1981.

### 3. 政治思想論

#### 4.(1) インドネシア政治論

##### (2) ジャワ文化史論

5. 1968～70年、インドネシア共和国ガジャ・マダ大学に留学。1973年、千葉大学人文学部助手に採用される。1974年、東南アジア研究センター助手に配置換、1978年、助教授、1988年、教授に昇任、現在に至る。

1975年、インドネシア国立博物館（ジャカルタ）、タマン・シスワ図書館（ジョクジャカルタ）等にてインドネシアナショナリズムに関する研究に従事。1975～77年、ライデン大学、王立言語民族文化研究所（ライデン）、旧植民地省文書館等にてインドネシアナショナリズムに関する研究に従事。1979～80年、インドネシア大学客員教授として「インドネシア政治思想史論」および「東南アジア社会論」の講義を行う。1982年、コーネル大学東南アジアプログラムの客員研究員としてジャワ文化に関する研究に従事。1983年タイ、フィリピン、インドネシア、1984～85年インドネシア、1986～87年タイ、1988年インド、インドネシア、1989年モロッコ、インドネシアにおいて現代国家論に関する調査を行う。

- 6.(1) “Fungsi Taman Siswa Dalam Pergerakan Nasional Indonesia Khususnya Dalam Tahun Tiga puluhan,” *Pusara*, 40(7), 1970.

- (2) 「スカルノとハッタの論争」『東南アジア研究』9(1), 1971.

- (3) 「サミン運動とインドネシア民族主義」『東南アジア研究』9(2), 1971.

- (4) 「タマン・シスワの研究——初期の活動に関する一考察」『東洋文化研究所紀要』62, 1974.

- (5) 「スカルノ研究の視角についての一試論——ジョン・レグ著『スカルノ伝』を手掛りとして」『アジア経済』15(12), 1974.

- (6) “The Taman Siswa Movement—Its Early Eight Years and Javanese Background,” *Journal of Southeast Asian Studies* (Singapore), 6(2), 1975.

- (7) “Perjuangan Taman Siswa Dalam Pendidikan Nasional,” *Journal Penelitian Sosial*, 4(8), 1980.

- (8) 「南方関与の理論的枠組について」衛藤藩吉（編）『日本をめぐる文化摩擦』弘文堂、1980.

- (9) 『インドネシア民族主義研究——タマン・シスワの成立と展開』創文社、1982.

- (10) 「インドネシアの開発政策と政治的安定」『海外事情』30(10), 1982.

- (11) 「インドネシアにおける政治と言語——バ・スロ事件の文化論的考察」『国際政治』74, 1983.

- (12) 「ジョクジャカルタ——中部ジャワにおける〈みやこ〉の成立と展開」『東南アジア研究』21(1), 1983.

- (13) 「カルティニの心象風景」『東南アジア研究』22(1), 1984.

- (14) 「19世紀ジャワ文化論序説——ジャワ学とロンゴワルシトの時代」土屋健治・白石隆（共編）『東南アジアの政治と文化』東京大学出版会、1984.

- (15) 「政治と言語」矢野暢（編）『講座政治学Ⅳ 地域研究』三嶺書房、1987.

- (16) 「『ニャイ・ダシマ物語』論」『東洋文化』67, 1987.

- (17) 「タマン・シスワとインドネシア現代政治」『東南アジア研究』24(3), 1987.

- (18) *Democracy and Leadership: The Rise of the Taman Siswa Movement in Indonesia* (trans. by Peter Hawkes), University of Hawaii Press, 1988.

- (19) 『東南アジアの思想』（講座・東南アジア学第6巻）（編著）弘文堂、1990.

- (20) 『カルティニの風景』めこん、1991.

## 玉田 芳史

1. 京都大学法学部, 1981.
2. 京都大学法学修士, 1983.
3. 比較政治学
4. タイの現代政治と政治史の研究
5. 1987年愛媛大学法文学部の国際関係論担当の助手に採用され、1988年同講師、1989年同助教授を経て、1990年東南アジア研究センター助教授に転任、現在に至る。

1983～85年の2年間タイのチュラーロンコーン大学政治学部にてタイ政治研究を行なった他、1987年、1988年、1990年、1991年にそれぞれ2週間ほどタイにて調査と資料収集に従事。

- 6.(1) 「タイの地方における実業家と官僚 (1) (2)」『法学論叢』121(1), (4), 1987.
- (2) 「タイにおける実業家政党と軍：首相府令66/2523を中心として」『東南アジア研究』26(3), 1988.
- (3) 「タイにおける1912年反乱計画：5世王による改革の問題点」『愛媛法学会雑誌』15 (3・4), 1989.
- (4) タック・チャルムティアロン著『タイ：独裁的温情主義の政治』（翻訳）、井村文化事業社、1989.
- (5) 「東南アジアの政治」岡本幸治・木村雅昭（共編著）『現代政治を解説する』ミネルヴァ書房、1990.
- (6) “*Itthiphon and Amnat: An Informal Aspect of Thai Politics*,” 『東南アジア研究』28(4), 1991.

## 木之内秀彦

1. 京都大学法学部, 1984.
2. 京都大学法学修士, 1986.
3. 政治学
4. 東南アジアの政治変動と国際関係
5. 1987年、東南アジア研究センター助手に採

用され、現在に至る。1989年8月から11月にかけて、タイにおいて第二次世界大戦後の東南アジア大陸部諸国における政治発展と革命運動に関する現地調査に従事した。

1991年8月と9月に、それぞれベトナムとアメリカ合衆国において、第一次インドシナ戦争をめぐる国際関係に関する調査。1992年1月から4月にかけて、タイにおいて、第二次世界大戦後の国際情勢に対するタイの反応に関する調査研究に従事。

- 6.(1) 「『政治的軍隊』と『非政治的職業軍隊』—フランス革命初期軍隊問題の一考察(1)」『法学論叢』122(1), 1987.
- (2) 「『政治的軍隊』と『非政治的職業軍隊』—フランス革命初期軍隊問題の一考察(2)」『法学論叢』123(2), 1988.
- (3) 「冷戦と東南アジア」矢野暢（編）『東南アジアの国際関係』（講座・東南アジア学第9巻）弘文堂、1991.

## 地域発展部門

### 吉原久仁夫

1. カリフォルニア大学（バークレー校）、1966.
2. カリフォルニア大学 Ph. D.（経済学）、1966.
3. 経済学
4. 東南アジアにおける資本主義世界
5. ミシガン大学経済学部助教授(1966～69年)を経て、1969年、東南アジア研究センター助手として着任、1971年、同助教授、1987年、同教授に昇任、現在に至る。

この間、1970～71年客員助教授として、および1981～82年客員教授としてフィリピン大学経済学部で経済発展論を講義。1973～74年には客員フェローとしてシンガポール大学経済学部、1976～77年に客員助教授としてスタンフォード大学経済学部、および1982～83年

に客員教授としてタマサート大学経済学部、  
1987年マラヤ大学経済学部で経済発展論を講  
義する。

6. (1) "Demand Functions: An Application to the Japanese Expenditure Pattern," *Econometrica*, 37(2), 1969.
- (2) "Long-term Models of the Japanese Economy," 『季刊理論経済学』20(3), 1969.
- (3) "The Problem of Accounting for Productivity Change in the Construction Price Index," (共著) *Journal of the American Statistical Association*, 66(333), 1971.
- (4) "Productivity Change in the Japanese Economy, 1905-65," (共著) 『季刊理論経済学』23(1), 1972.
- (5) 「シンガポールの工業化と米系企業」『東南アジア研究』12(4), 1975.
- (6) 「シンガポールの工業化における外資系企業と民族系企業」『東南アジア研究』13(2), 1975.
- (7) *Foreign Investment and Domestic Response: A Study of Singapore's Industrialization*, Eastern Universities Press, Singapore, 1976.
- (8) *Japanese Investment in Southeast Asia*, University Press of Hawaii, 1978.
- (9) 「野村財閥の南方事業」『東南アジア研究』19(3), 1981.
- (10) *Sogo Shosha: The Vanguard of the Japanese Economy*, Oxford University Press, Tokyo, 1982. (インドネシア語に翻訳出版)
- (11) "Business Groups in Thailand," (共著) Research Notes and Discussion Paper No. 41, Institute of Southeast Asian Studies, Singapore, 1983.
- (12) *Japanese Economic Development: A Short Introduction*, 2nd ed., Oxford University

Press, Tokyo, 1985. (インドネシア語, タイ語, ラオス語, ベトナム語, タガログ語, 中国語に翻訳出版)

- (13) *Philippine Industrialization: Foreign and Domestic Capital*, Oxford University Press, Singapore, 1985.
- (14) "The Problem of Continuity in Chinese Businesses in Southeast Asia," 『東南アジア研究』25(3), 1987.
- (15) *The Rise of Ersatz Capitalism in Southeast Asia*, Oxford University Press, Singapore, 1988. (インドネシア語に翻訳出版)
- (16) *Oei Tiong Ham Concern: The First Business Empire in Southeast Asia*, (編), CSEAS, 1989. (インドネシア語に翻訳出版)
- (17) *Thai Perceptions of Japanese Modernization*, (編) Falcon Press, Kuala Lumpur, 1989.
- (18) "Thailand: Industrialization without Development," (共著) *East Asian Cultural Studies*, 28 (March), 1989.
- (19) *Japan in Thailand*, (編) Falcon Press, Kuala Lumpur, 1989.
- (20) 『東南アジアの経済』(講座・東南アジア学第8巻) (編著) 弘文堂, 1991.

## 海田 能宏

1. 京都大学農学部, 1962.
2. 京都大学農学博士, 1970.
3. 農村開発論, 熱帯農業水文学
4. (1) アジア農村開発論  
(2) 農業発展の水文環境的基盤
5. 1967年, 京都大学助手(農学部)に採用され, 1969年, 東南アジア研究センターへ配置換。1974年同助教授, 1984年同教授に昇任。同年から京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻教授を兼任。

1969年以降、水文環境、農業水利、農業生態、農村開発などに関する現地調査をつづけており、それらは、1969～70年タイ（約10ヵ月）、1973年ビルマ（1ヵ月）、1973年タイ・インドネシア（2ヵ月）、1974年ベトナム・メコンデルタ（2回3ヵ月）、1978年インドネシアの南スマトラ（2ヵ月）、1979、80年フィリピンのルソン平野（3ヵ月）、1980、81年タイ（2回2ヵ月）、1981年東北タイ村落定着調査（5ヵ月）、1983～84年再び東北タイ村落定着（13ヵ月）、1985年以来バングラデシュ農業・農村開発基礎調査（11回計12ヵ月）1985、90、91年インドネシアのジャワ（1.5ヵ月）、1987年エジプトのナイルデルタ（0.5ヵ月）、1989年インド・パキスタン（2ヵ月）、1991年中国雲南・広東省（1.5ヵ月）などである。また、1971～72年アメリカ合衆国カリフォルニア大学（リバーサイド校）にて水資源計画学の研修（約13ヵ月）、1974～77年の3年間は国連メコン委員会において、メコン河流域の水資源と農業開発計画に関する調査・研究に従事した。

6. (1) "Pioneer Settlement and Water Control Development in the West Bank Tract of the Lower Chao Phraya Delta—Water Conditions in the Deltaic Lowland Rice Fields (II)," 『東南アジア研究』 11(3), 1974.
- (2) 「メコンデルタ稲作農業の自然環境とデルタの開発構図」『東南アジア研究』13(1), 1975.
- (3) "Agro-hydrologic Regions of the Chao Phraya Delta," in S. Ichimura (ed.), *Southeast Asia: Nature, Society and Development*, University Press of Hawaii, 1977.
- (4) *Pa Mong Optimization and Downstream Effects Study, Main Report*, Report of Mekong Secretariat, MKG 45, Rev. 1, 1978.
- (5) "Effect of Mekong Mainstream Flood

Regulation on Hydrology and Agriculture in the Cambodian Lowland (I): Rice Culture," 『東南アジア研究』16(4), 1979.

- (6) 「メコンをデザインする」松田松二（編）『自然とむすぶ文化』共立出版, 1980.
- (7) 「熱帯アジアの伝統的農業水利技術」『農業土木学会誌』51(1), 1983.
- (8) *A Rice-Growing Village Revisited: An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand (An Interim Report)*, (共編著) CSEAS, Kyoto University, 1983.
- (9) "Climate and Agricultural Land Use in Thailand," in M. M. Yoshino (ed.), *Climate and Agricultural Land Use in Monsoon Asia*, University of Tokyo Press, 1984.
- (10) "Hydrology of Rice Land," in *Soil Problems in Rice Based Cropping Systems*, International Rice Research Institute, 1985.
- (11) 「東北タイ・ドンデーン村：村のたたずまい」（共著）「東北タイ・ドンデーン村：稲作の不安定性」（共著）『東南アジア研究』23(3), 1985.
- (12) 「東北タイの開拓空間の形成」石井米雄（編）『東南アジア世界の構造と変容』創文社, 1986.
- (13) 「水文と水利の生態」渡部忠世・福井捷朗（共編）『稲のアジア史』第1巻, 小学館, 1987.
- (14) 「世界の灌漑排水」丸山利輔他（編）『新編灌漑排水』養賢堂, 1988.
- (15) *Agricultural and Rural Development in Bangladesh: Tetulia Village in Bogra*. JSARD Publication No. 16, (編著) JICA, Dhaka, 1990.
- (16) *Agricultural and Rural Development in Bangladesh: Key Questions and Issues from Village-Based Studies, 1986–1989*. JSARD Publication No. 20, (共編著) JICA, Dhaka, 1990.

- (17) 「バングラデシュの〈むら〉と〈まち〉のインターアクション」(共著)『東南アジア研究』28(3), 1990.
- (18) 「バングラデシュの農村発展のための共同研究」『東南アジア研究』28(3), 1990.
- (19) 「稲作と水利」高谷好一(編)『東南アジアの自然』(講座・東南アジア学第2巻)弘文堂, 1990.
- (20) “Tropical Hydrology Simulation Model 1 for Watershed Management(1) Model Building,”(共著)『水文・水資源学会誌』4(2), 1991.

## 高阪 章

- 1. 京都大学経済学部, 1972.
- 2. スタンフォード大学 Ph.D. (経済学), 1984.
- 3. 国際経済学, 経済発展論
- 4.(1) 東南アジア諸国のマクロ経済運営
- (2) アジア諸国の金融・資本市場の発展と国際資本移動
- 5. アジア経済研究所研究員(1975~88年)を経て, 1988年, 東南アジア研究センター助教授として着任, 現在に至る。
- この間, 韓国, 台湾, マレーシア, シンガポール, 香港, インドネシア, タイ, フィリピンで現地調査を実施した他, 1986~87年, 一橋大学経済研究所客員助教授, 1987~88年, ハーバード大学経済学部客員研究員として発展途上国のマクロ経済政策の研究に従事した。
- 6.(1) *Yen-Dollar Exchange Rate Determination: 1973-82*, Ph.D. Dissertation, Stanford University, 1984.
- (2) “Introduction (to the Special Issue on Monetary and Fiscal Aspects of Economic Development),” *Developing Economies*, 22(4), 1984.
- (3) “The High Interest Rate Policy under

- Financial Repression*,” *Developing Economies*, 22(4), 1984.
- (4) 「中進国における対外調整政策: 総論」『アジア経済』26(9), 1985.
- (5) 「交易条件と実質為替レート」『アジア経済』26(9), 1985.
- (6) 「アジア諸国の為替政策」『アジア経済』26(9), 1985.
- (7) 「第2次石油危機後のブラジルの為替レート政策」『アジア経済』26(9), 1985.
- (8) 『経済発展と財政金融』(伊東和久, 田近栄治と共編), アジア経済研究所, 1985.
- (9) 「経済発展における金融の役割」『アジア経済』27(9・10), 1986.
- (10) 「アジア諸国の金融自由化とそのインパクト」『アジア経済』28(12), 1987.
- (11) “Financial Liberalization in Asian NICs—A Comparative Study of Korea and Taiwan in the 1980s—,” *Developing Economies*, 25(4), 1987.
- (12) 「発展途上国における対外借入れとマクロ安定化政策——チリ・韓国の事例比較」『経済研究』39(1), 1988.
- (13) 「経済発展における金融の役割——高度成長期の日本の事例研究——」山澤逸平(編)『日韓経済発展比較論』総合研究開発機構, 1988.
- (14) 「発展途上国における金融自由化」『金融学会報告』66, 1988.
- (15) “The Role of Finance in Japan’s Economic Development,” in Chung H. Lee and Ippei Yamazawa (eds.), *The Economic Development of Japan and Korea: A Parallel with Lessons*, Praeger Publishers, 1990.
- (16) 「発展途上国の対外借入れ戦略——1980年代のマクロ経済運営——」伊藤元重・石見徹(共編)『現代国際金融の諸問題』東京大学出版会, 1990.

- (17) 「国際経済環境の変化と途上国の借入れ戦略」堀内昭義（編）『国際経済環境と経済調整』アジア経済研究所，1990.
- (18) 「東南アジアの対外債務」吉原久仁夫（編）『東南アジアの経済』（講座・東南アジア学第8巻）弘文堂，1991.
- (19) "Financial Development in the Philippines in the 1980s,"『東南アジア研究』28(4)，1991.
- (20) 「途上国の国際収支とそのファイナンス」植田和男・深尾光洋（共編）『90年代の国際金融』日本経済新聞社，1991.

## 池本 幸生

- 1. 京都大学経済学部，1980.
- 2. 京都大学経済学士，1980.
- 3. 経済発展論
- 4. タイの所得分配と経済発展
- 5. アジア経済研究所研究員（1980～90年）を経て、1990年、東南アジア研究センター助教授として着任、現在に至る。  
1987～89年にはチューラーロンコーン大学社会科学研究所客員研究員としてタイの所得分配および経済開発政策の研究を行う。  
1991～92年（5ヵ月）にはバンコク連絡事務所に駐在。
- 6. (1) 「労働過剰経済における動学的調整と分配」『アジア経済』24(5)，1983.
- (2) "On the Fiscal Incentive for Investment: The Case Study of Postwar Japan," (共著) *Developing Economies*, 22(4)，1984.
- (3) "Income distribution and Agricultural Development Policy in West Malaysia," in M. Yanagisawa and T. Mizoguchi (eds), *Income Distribution and the Role of Development Policies in Asia*, アジア経済研究所，1985.
- (4) 「マレーシアの所得分配に関する一考

- 察：データの吟味と不平等化についての分析」『アジア経済』26(11)，1985.
- (5) "Income Distribution in Malaysia: 1957-80," *Developing Economies*, 23(4)，1985.
- (6) *Income Distribution and Economic Development: A Comparative Study Between Thailand and Malaysia*, Joint Research Project Series 57, アジア経済研究所，1986.
- (7) 「所得分配：経済発展と所得分配の不平等化」『アジア経済』27(9・10)，1986.
- (8) "Technical Progress and Level of Technology in Asian Countries: 1970-80—A Translog Index Approach," *Developing Economies*, 24(4)，1986.
- (9) 「タイにおける所得分配と地方間・地域間格差：1975/76年と81年」（共著）『アジア経済』28(4)，1987.
- (10) 「経済発展と所得分布：東および東南アジアの事例」『アジア経済』28(5)，1987.
- (11) "Income Inequality and Regional Disparity in Thailand, 1962-81," (共著) *Developing Economies*, 25(3)，1987.
- (12) *Economic Development Policy in Thailand: A Historical Review* (共編著) アジア経済研究所，1988.
- (13) 『タイの経済政策——歴史・現状・展望』アジア経済研究所，1988.
- (14) 「利潤率、企業集中と下請け関係：サイアム・モーターズ・グループの事例」『アジア経済』29(9)，1988.
- (15) 「タイの世帯所得構造」（財）統計研究会（編）『タイの所得消費構造に関する研究』1990.
- (16) 「東南アジアの所得分配」吉原久仁夫（編）『講座・東南アジアの経済』（東南アジア学第8巻）弘文堂，1991.
- (17) *Income Distribution in Thailand: Its Changes, Causes, and Structure*, アジア経済研究所，1991.



## 上田 曜子

1. 学習院大学経済学部, 1981.
2. 学習院大学経済学修士, 1983.
3. 経済発展論, タイ経済論
4. タイ国の地方都市における企業家層の形成
5. 1990年, 助手としてセンターに着任。1991年2月～92年2月, タイ国のナコーンラーチャーシーマーにて, 企業家層に関する調査に従事。
6. (1) 「タイ国工業化の歴史的前提——米輸出とバンコク産業発達史 1767-1957——」『経済論叢』138(3・4), 1986.
- (2) 「バンコクの経済成長とバンコク近郊における資本家形成——ナコーンパトム県及びラーチャブリー県の事例——」『東南アジア研究』28(1), 1990.

## 人間環境部門

### 福井 捷朗

1. 京都大学農学部, 1961.
  2. 京都大学農学博士, 1974.
  3. 農業生態
  4. 東北タイ, ヤソトン県の農業生態
  5. 1964～69年, タイ国カセサート大学及び農務省米穀局にて稲作を研究。1967年, 京都大学東南アジア研究センター助手に採用される。1969年同農学部助手, 1974年同東南アジア研究センター助手。1975年同助教授, 1987年同教授に昇任, 現在に至る。1982年より京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻助教授, 1987年同教授を併任。
- 1972年タイ及びジャワ, 1974年メコンデルタ, 1976年イラワディデルタ及びサラワク, 1977年西マレーシア, 1979年スマトラ及びブルソン島, 1979年, 1980年タイにおいて, それぞれ数ヶ月の現地調査に従事する。1975年, オランダ農科大学にて研究。1981～82年及び1983年, 東北タイ村落定着調査に従事する。

1986年, 1989年, 1990年, 1991年県レベルの農業生態調査のため東北タイにて現地調査に従事する。

6. (1) “Environmental Determinants Affecting the Potential Dissemination of High Yielding Varieties of Rice: A Case Study of the Chao Phraya River Basin,”『東南アジア研究』9(3), 1971.
- (2) 「気候変動と湿潤熱帯の農業」『科学』49(3), 1979.
- (3) “Climatic Variability and Agriculture in Tropical Moist Regions,” in *Proceedings of The World Climate Conference, Geneva, February 1979*, (WMO-No. 537), World Meteorological Organization, 1980.
- (4) “Variability of Rice Production in Tropical Asia,” in *Drought Resistance in Crops with Emphasis on Rice*, International Rice Research Institute, Los Baños, 1982.
- (5) 「東南アジア低湿地の土地利用」『東南アジア研究』21(4), 1984.
- (6) 「エコロジーと技術：適応のかたち」渡部忠世（編）『稲のアジア史』第1巻『アジア稲作文化の生態基盤』小学館, 1987.
- (7) 『ドンデーン村——東北タイの農業生態——』創文社, 1988.
- (8) 「東南アジア世界の形成と自然」高谷好一（編）『東南アジアの自然』（講座・東南アジア学第2巻）弘文堂, 1990.
- (9) 「村の意味論」矢野暢（編）『東南アジア学の手法』（講座・東南アジア学第1巻）弘文堂, 1990.
- (10) “The Rice/Population Balance in a Northeast Thai Village,”『東南アジア研究』28(4), 1991.

### 田中 耕司

1. 京都大学農学部, 1969.
2. 京都大学農学修士, 1972.

3. 作物学
4. (1) 熱帯アジアにおける水田・畑の伝統的作付体系
  - (2) インドネシア移住民の農業適応
5. 1973年, 京都大学農学部助手に採用される。1979年, 東南アジア研究センター助手に配置換え, 1984年, 助教授に昇任, 現在に至る。  
この間, 1974年ビルマにおいて栽培稲の変遷の調査, 1978~79年ビルマ, アッサムにおいて野生イネの分布と栽培イネの生態型分化の調査に従事。1979年インド, スリランカにおいてクロッピングシステム等の比較研究調査を行う。1980~85年にかけて3次にわたり, インドネシアにおいて熱帯島嶼域の人の移動に関わる環境形成過程の研究調査に参加, その後, インドネシアで農業移民の調査, バングラデシュで農村開発調査, インドネシア, マダガスカル, 中国等で稲作技術・文化の調査を行う。
6. (1) "Agricultural Adaptation among Bugis Spontaneous Migrants—A Case Study in Northeastern Kabupaten Luwu," in N. Maeda and Mattulada (eds.), *Transformation of the Agricultural Landscape in Indonesia*, CSEAS, Kyoto University, 1984.
  - (2) 「東南アジア島嶼部の環境と農業適応——開拓地入植者にみる適応のかたち」石井米雄(編)『東南アジア世界の構造と変容』創文社, 1985.
  - (3) "Bugis and Javanese Peasants in the Coastal Lowland of the Province of Riau, Sumatra: Differences in Agricultural Adaptation," in T. Kato *et al.* (eds.), *Environment, Agriculture and Society in the Malay World*, CSEAS, Kyoto University, 1986.
  - (4) "A Note on Spontaneous Migrants and Their Settlements in Northeastern Kabupaten Luwu, South Sulawesi," in K. Tanaka *et al.* (eds.), *Environment, Landuse and Society in Wallacea*, CSEAS, Kyoto University, 1986.
  - (5) 「稲作技術の類型と分布」渡部忠世・福井捷朗(共編)『稲のアジア史』第1巻, 小学館, 1987.
  - (6) 「近世における集約稲作の形成」渡部忠世・田中耕司(共編)『稲のアジア史』第3巻, 小学館, 1987.
  - (7) 「熱帯降雨林気候下の農民農業——東南アジアの場合」『熱帯農業』31(2), 1987.
  - (8) "Rice and Rice Culture in Madagascar," in Y. Takaya (ed.), *Madagascar: Perspectives from the Malay World*, CSEAS, Kyoto University, 1988.
  - (9) 「稲作技術発展の論理——アジア稲作の比較技術論に向けて」『農業史年報』2, 1988.
  - (10) 「マダガスカルのイネと稲作」『東南アジア研究』26(4), 1989.
  - (11) 「稲の科学と栽培理論」岡光夫他(共編)『叢書近代日本の技術と社会1 稲作の技術と理論』平凡社, 1990.
  - (12) 「ベトナムの農業政策の動向と稲作の現状」『国際農林業協力』13(2), 1990.
  - (13) "Village-Level Studies on Rice-Based Cropping Systems in the Low-Lying Areas of Bangladesh 1. Cropping Patterns and Their Distribution in Haor and Bil Areas," (共著) *Jap. Jour. Crop Sci. Soc.*, 59(3), 1990.
  - (14) 「フロンティアとしての開拓空間」矢野暢(編)『東南アジア学の手法』(講座・東南アジア学第1巻)弘文堂, 1990.
  - (15) 「プランテーション農業と農民農業」高谷好一(編)『東南アジアの自然』(講座・東南アジア学第2巻)弘文堂, 1990.
  - (16) 「ベンガル・デルタ低地部の作付体系——技術変容と作付体系展開の地域間比較」(共著)『東南アジア研究』28(3), 1990.

- (17) 「バングラデシュ・ハオール農村の水文環境と稲基幹作付様式の展開」(共著)『東南アジア研究』28(3), 1990.
- (18) 「農業フロンティアと移住民: 南スラウェシ州ルウ島の農民移住と定着」高谷好一(編)『フロンティア空間としての東南アジア』(科学研究費報告書) 東南アジア研究センター, 1991.
- (19) “A Note on Typology and Evolution of Asian Rice Culture: Toward a Comparative Study of the Historical Development of Rice Culture in Tropical and Temperate Asia,”『東南アジア研究』28(4), 1991.
- (20) 「アジアの稲作と日本——過去・現在・未来」『阪南大学産業経済研究所年報』20, 1991.

## 河野 泰之

1. 東京大学農学部, 1981.
2. 東京大学農学博士, 1986.
3. 土地, 水利用
4. (1) 天水田から灌漑田への展開過程  
(2) タイの農業生態  
(3) 天水田水稻作の水文環境
5. 1987年東南アジア研究センター助手に採用され, 現在に至る。1981年ジャワ島において水源補強と末端水路整備の効果と影響の調査, 1983~84年タイにおいて天水田地域の土地・水利用の調査, スリランカ及び南インドにおいてため池灌漑田地域の土地・水利用の調査, 1986年ルソン島において天水田と灌漑田の水文環境の比較調査, 1989年イラン, イラク, エジプトにおいて水利調査, 1990, 91年中国において水利開発史の調査に従事する。
6. (1) 「熱帯農業開発における水田の意義」『農業土木学会誌』51(1), 1983.  
(2) “Ch.6. Land and Water/Hydrography” and “Ch.8. Agriculture-Environment In-

teraction/Water Stress and Rice Production,” in H. Fukui *et al.* (eds.), *A Rice-Growing Village Revisited: An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand* (The Second Interim Report), CSEAS, Kyoto University, 1985.

- (3) 「東北タイ・ドンデーン村: 稲作の不安定性」『東南アジア研究』23(3), 1985.
- (4) 「熱帯モンスーン地域の天水田の農業基盤の研究」東京大学博士論文, 1985.
- (5) 「タイ国東北部の天水田の水文環境と水利開発」『拓殖学研究』26, 1986.
- (6) 「天水田における土地改良事業の経済効果」『農業土木学会誌』55(9), 1987.
- (7) “Ch.3. Instability of Rice Production and Its Implications,” in H. Fukui *et al.* (eds.), *A Rice-Growing Village Revisited: An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand* (The Third Interim Report), CSEAS, Kyoto University, 1988.
- (8) “Rainfed Rice Culture and Population Growth ——A Case Study at a Northeast Thai Village——,”『東南アジア研究』28(4), 1991.
- (9) 「タイ国東北部における天水農業の現状と今後の展開」『天水委員会現地調査報告書——タイ国』農用地整備公団, 1991.

## 客員教官

### 荻野 和彦

1. 京都大学農学部, 1959.
2. 京都大学農学博士, 1975.
3. 森林生態学, 造林学
4. (1) 熱帯雨林の更新過程  
(2) 熱帯樹木の生態生理  
(3) マングローブ植物の組織培養
5. 1965年, 京都大学助手(東南アジア研究センター)に採用される。1966年, 同助手(農

学部), 1967年, 同講師, 1975年, 同助教授を経て, 1983年愛媛大学教授(農学部), 現在にいたる。1991年愛媛大学大学院連合農学研究科長, 京都大学教授(東南アジア研究センター客員講座)を併任する。

1957年「日・パキスタン合同スワート・ヒマラヤ学術探検隊」に参加, シャハン・ドク峰(6100m)を試登したのが初めての海外遠征。1961年「日・タイ合同生物学調査隊」の熱帯林の生態学調査に加えられた。このとき熱帯熱マラリアにかかり現地で入院したが, 同時に「タイ病」にもとりつかれてしまった。翌62年理科系の日本人学生として初めて, タイ国カセートサート大学に留学。1980年以來「タイ国マングローブ林の森林生態学的研究」および「東南アジアの熱帯雨林生態系の研究」に従事, 熱帯研究は生態系の修復をめざさねばならないこと, そのため生物・環境, 生物相互の作用系としてのみでなく, 社会システムとの関連において捉えねばならないことを確信するにいたった。1991年には, 「サラワクの熱帯雨林の長期生態調査」計画に着手した。

- 6.(1) 「森林植生」加藤泰安・中尾佐助・梅棹忠夫(共編)『山岳・森林・生態学』中央公論社, 1976.
- (2) 「生態系——森林を中心として」大沢文夫ら(共編)『集団と生態』(生物科学講座8巻)朝倉書店, 1977.
- (3) 「西スマトラでの熱帯多雨林の更新過程」『熱帯林業』4, 1985.
- (4) 「熱帯林の動態」『海外学術調査コロキウム——アジアの熱帯林』, 1986.
- (5) 『森は大きな生きものだ』ポプラ社, 1987.
- (6) 「消えゆく熱帯林」『緑の文明』11月号, 1987.
- (7) *System of Mangroves, a Report of East Indonesian Mangrove Expedition, 1986* (共

編), Ehime University, 1988.

- (8) 「マングローブ林の生態」『熱帯林業』14, 1989.
- (9) 「森林の遷移」堤利夫(編)『森林生態学』朝倉書店, 1989.
- (10) 「森林の動態——天然林の更新過程」岩槻邦夫ら(共編)『東南アジアの植物と農林業』日本学術振興会, 1989.
- (11) *Biological Process of Mangrove Rhizosphere, A Report of Research Project '87-'88 supported by Grant-in-Aid for Cooperative Research(A), MESCI, (編)*, 1989.
- (12) 「マングローブ林の根圏生態」『プランタ』5, 1989.
- (13) 「世界のマングローブ」『採集と飼育』51(10), 1989.
- (14) 「熱帯林は再生可能か」『公害研究』19(4), 1990.
- (15) 「熱帯林研究と研究協力」『林業技術』577, 1990.
- (16) 「欧米生態学者の熱帯林への関心」『林業技術』584, 1990.
- (17) 「熱帯林の保全と生態系」森林フォーラム実行委員会(編)『熱帯雨林そして日本』日本経済評論社, 1990.
- (18) 「熱帯林生態系」大来佐武郎(監修)『講座地球環境 地球規模の環境問題II』中央法規出版, 1990.
- (19) 「森が包み込む生命環境, 熱帯雨林の植生構造を読みとる」『アニマ』224, 1991.
- (20) 「マングローブ林の生態系と保全」『創造の世界』79, 1991.

## 松下敬一郎

1. 京都大学農学部, 1976年.
2. ミシガン大学Ph.D. (経済学), 1986年.
3. 人口経済学
- 4.(1) 世帯構成変動の比較計量分析

- (2) 家族形成の経済学
5. 1980年, 東南アジア研究センター助手に採用される。1985年, 厚生省人口問題研究所に技官として転任, 1988年にJICAの人口学専門家としてスリランカ国統計局に一年間勤務。1989年より龍谷大学社会学部助教授, 現在にいたる。1991年4月より東南アジア研究センター併任助教授 (非常勤講師)。
  6. (1) 「人口移動の理論的接近の試み」『東南アジア研究』20(2), 1982.
  - (2) "Rural Population and Cities," in K. Tsuchiya (ed), "*States in Southeast Asia: from "Tradition" to "Modernity,"*" CSEAS, Kyoto University, 1984.
  - (3) 「ナブジャリティー」『医学のあゆみ』132(13), 1985.
  - (4) 「結婚の経済分析について」『人口問題研究』180, 1986.
  - (5) 「ハザード関数の統計解析と生命表」『人口問題研究』182, 1987.
  - (6) "Economic Implications of Aging of the Labour Force," in *Economic and Social Implications of Population Aging*, United Nations, 1988.
  - (7) "Implications of Regional Differentials in Economic and Demographic Variables," in S. Ichimura(ed), *Indonesian Economic Development: Issues and Analysis*, JICA, 1988.
  - (8) "Economic Analysis of Age at First Marriage," *Journal of Population Economics*, 2(2), 1989.
  - (9) 「農村の家族」坂本慶一 (編)『人間にとって農業とは』学陽書房, 1989.
  - (10) 「農家人口の戦後における出生力低下の実証分析」『龍谷大学社会学部紀要』1, 1990.
  - (11) 「人口動態と世帯構成の変化: 五個荘町金堂の事例的研究」『龍谷大学地域総合研究』1, 1991.

## 2. 資料部

### 北野 康子

1. 長崎大学教育学部, 1962.
2. ハワイ大学 MATESL (Master of Arts in Teaching English as a Second Language), 1968. ハワイ大学 MLS (Master of Library Studies), 1971.
3. 図書館学
4. (1) 東南アジア研究資料の目録情報
- (2) ライブラリー・オートメーション
5. 1966~68年, East-West Center 奨学生, 1969~71年, ハワイ大学大学院にて図書館学を修める。1971~77年, 貿易研修センター情報資料室勤務を経て, 1977年, 東南アジア研究センター資料部図書室に助手として着任, 現在に至る。
6. (1) *The Bibliography of Bibliographies of the Pacific*, Graduate School of Library Studies, University of Hawaii, 1969.
- (2) *United Nations Documents on the Trust Territory of the Pacific Islands*, Graduate School of Library Studies, University of Hawaii, Honolulu, 1971.
- (3) 「発展途上国の経済ナショナルリズムと経済統合に関する文献目録」(共編)『アジア経済資料月報』20(3), 1978.
- (4) *Women in Southeast Asia: A Bibliography, for the National Women's Education Center, Japan*, Kyoto, 1979.
- (5) 「図書館ネットワークのしくみ: W L N

のシステム, Washington Library Network」(共編) ライブラリー・オートメーション研究会, 京都, 1982.

(6) 「インドネシアにおける図書館システム」(訳)『図書館界』35(4), 1983.

(7) “Southeast Asian Research Resources in Western Japan,” presented at the Seventh Congress of Southeast Asian Librarians, Manila, 15–21 February 1987.

#### 米沢真理子

1. 京都大学文学部, 1972.
2. 京都大学文学修士, 1974.
4. タイの教育と文化
5. 1974年, 京都大学東南アジア研究センターに文部事務官として採用される。1987年, 東

南アジア研究センター資料部編集室助手に配置換, 現在に至る。

6. 「バスカルにおけるキリスト教弁証論の方法」(京都大学修士論文) 1974.

#### 永田 好克

1. 京都大学工学部, 1985.
2. 京都大学工学部修士, 1987.
3. 言語情報処理
- 4.(1) 自然言語入出力インターフェイス  
(2) 言語情報データベース
5. 1987年, 富士写真フイルム株式会社入社。  
1988年, 東南アジア研究センター助手として採用され現在に至る。
- 6.(1) 「日本語論説文に現れる照応表現の処理」情報処理学会第34回全国大会, 1987.

## 第5章 出版目録

1991年12月現在で、センターが刊行した東南アジア研究叢書（和文、英文）、『東南アジア研究』（24巻1号以降）、研究報告書シリーズの一覧を掲げる。なお、前述したように、『東南アジア研究』第1号から23巻4号までの全所収論文等は総目録として『東南アジア研究』別冊（23巻5号）に、またリプリント・シリーズ、ディスカッション・ペーパーの一覧は『昭和62年度版センター要覧』に一括掲載されているので、参照されたい。

### 1. 東南アジア研究叢書

#### A. 和文叢書

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 1. 棚瀬 襄爾.       | 1966.『他界観念の原始形態』                         |
| 2. 矢野 暢.        | 1968.『タイ・ビルマ現代政治史研究』                     |
| 3. 本岡 武.        | 1968.『東南アジア農業開発論』                        |
| 4. 坪内 良博；坪内 玲子. | 1971.『離婚』創文社.                            |
| 5. 飯島 茂.        | 1971.『カレン族の社会・文化変容』創文社.                  |
| 6. シュトルツ.       | 1974.『ビルマ——地誌・歴史・経済』野上裕生（訳）. 創文社.        |
| 7. 市村 真一 編.     | 1974.『東南アジアの自然・社会・経済』創文社.                |
| 8. 石井 米雄 編.     | 1975.『タイ国——ひとつの稲作社会』創文社.                 |
| 9. 石井 米雄.       | 1975.『上座部仏教の政治社会学』創文社.                   |
| 10. 本岡 武.       | 1975.『インドネシアの米』創文社.                      |
| 11. 市村 真一 編.    | 1975.『東南アジアの経済発展』創文社.                    |
| 12. 口羽；坪内；前田 編. | 1976.『マレー農村の研究』創文社.                      |
| 13. 西原 正 編.     | 1976.『東南アジアの政治的腐敗』創文社.                   |
| 14. エクスタインほか 編. | 1979.『中国の経済発展』市村真一（監訳）. 創文社.             |
| 15. 渡部 忠世 編.    | 1980.『東南アジア世界——地域像の検証』創文社.               |
| 16. 水野 浩一.      | 1981.『タイ農村の社会組織』創文社.                     |
| 17. 土屋 健治.      | 1982.『インドネシア民族主義研究——タマン・シスワの成立と展開』創文社.   |
| 18. 高谷 好一.      | 1982.『熱帯デルタの農業発展——メナム・デルタの研究』創文社.        |
| 19. 小林 和正.      | 1984.『東南アジアの人口』創文社.                      |
| 20. 石井 米雄 編.    | 1986.『東南アジア世界の構造と変容』創文社.                 |
| 21. 桜井 由躬雄.     | 1987.『ベトナム村落の形成——村落共有田＝コンディエン制の史的展開』創文社. |
| 22. 福井 捷朗.      | 1988.『ドンデン村——東北タイの農業生態』創文社.              |

23. 口羽 益生 編. 1990. 『ドンデーン村の伝統構造とその変容』 創文社.
24. 山田 勇. 1991. 『東南アジアの熱帯多雨林世界』 創文社.

## B. 英文叢書

1. SATO, Takashi. 1966. *Field Crops in Thailand*. Kyoto: CSEAS.
2. WATABE, Tadayo. 1967. *Glutinous Rice in Northern Thailand*. Kyoto: CSEAS.
3. TAKIMOTO, Kiyoshi, ed. 1968. *Geology and Mineral Resources in Thailand and Malaya*. Kyoto: CSEAS.
4. KAWAGUCHI, Keizaburo; and KYUMA, Kazutake. 1969. *Lowland Rice Soils in Thailand*. Kyoto: CSEAS.
5. KAWAGUCHI, Keizaburo; and KYUMA, Kazutake. 1969. *Lowland Rice Soils in Malaya*. Kyoto: CSEAS.
6. MAEDA, Kiyoshige. 1967. *Alor Janggus, A Chinese Community in Malaya*. Kyoto: CSEAS.
7. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1975. *The Economic Development of East and Southeast Asia*. Honolulu: University Press of Hawaii.
8. NISHIHARA, Masashi. 1976. *The Japanese and Sukarno's Indonesia: Tokyo-Jakarta Relation, 1951-66*. Honolulu: University Press of Hawaii.
9. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1977. *Southeast Asia: Nature, Society and Development*. Honolulu: University Press of Hawaii.
10. KAWAGUCHI, Keizaburo; and KYUMA, Kazutake. 1977. *Paddy Soils in Tropical Asia*. Honolulu: University Press of Hawaii.
11. YOSHIHARA, Kunio. 1978. *Japanese Investment in Southeast Asia*. Honolulu: University Press of Hawaii.
12. ISHII, Yoneo, ed. 1978. *Thailand: A Rice-Growing Society*. Honolulu: University Press of Hawaii.
13. CHO, Lee-Jay; and KOBAYASHI, Kazumasa, eds. 1980. *Fertility Transition of the East Asian Populations*. Honolulu: University Press of Hawaii.
14. KUCHIBA, Masuo; TSUBOUCHI, Yoshihiro; and MAEDA, Narifumi. 1979. *Three Malay Villages: A Sociology of Paddy Growers in West Malaysia*. Honolulu: University Press of Hawaii.
15. CHO, Lee-Jay; SUHARTO, S.; MCNICOLL, G.; and MAMAS, S.G.M. 1980. *Population Growth of Indonesia: An Analysis of Fertility and Mortality Based on the 1971 Population Census*. Honolulu: University Press of Hawaii.
16. ISHII, Yoneo. 1980. *Sangha, State, and Society: Thai Buddhism in History*. Honolulu: University of Hawaii Press.
17. TAKAYA, Yoshikazu. 1987. *Agricultural Development of a Tropical Delta: A Study of the*



18. Tsuchiya, Kenji. *Chao Phraya Delta*. Honolulu: University of Hawaii Press.
1988. *Democracy and Leadership: The Rise of the Taman Siswa Movement in Indonesia*. Honolulu: University of Hawaii Press.

## 2. 『東南アジア研究』(24巻1号から29巻3号まで)

『東南アジア研究』第1号から23巻4号までの全所収論文等は総目録として別冊23巻5号に掲載されているので、ここでは、24巻1号から最新号までの所収論文等を掲げる。各報告は、コード番号・著者名・報告表題・掲載頁の順に配列されている。コード番号は、4, 5桁目の数字が巻数を、3桁目の数字が号数を、そして、1, 2桁目の数字が報告の番号を表している。

24巻1号 [Vol. 24, No. 1] 1986年6月 [June 1986]

### 論文 [Article]

- 24101 青山 亨 [Aoyama, Toru]. 古ジャワ文学におけるスタソーマ物語の受容と変容 [The Adoption and Structural Transformation in Old Javanese Literature of *Sutasoma*, an Indian Buddhist Story]. 3-17.

### 資料・研究ノート [Notes]

- 24102 川崎有三 [Kawasaki, Yuzo]. 小コミュニティの社会位相空間論——マレーシア潮州人漁村にみられるリズム・テンポ・メロディー—— [A Small Community as a Sociotopological Space—Rhythm, Tempo and Melody of a Teochiu Fishing Village, Malaysia—]. 18-52.
- 24103 金 昌男 [Kim, Chang-Nam]. 工業部門の雇用吸収力と労働移動——アジア5カ国の事例—— [Industrial Sector Labor Absorption and Migration in Asian Countries]. 53-64.
- 24104 古川久雄 [Furukawa, Hisao]. バタンハリ川流域低湿地の農業景観 その2. 農業景観の展開 [Agricultural Landscape in the Lower Batang Hari, Sumatra Part Two: Vicissitudes of Agricultural Land Use]. 65-105.

### 現地通信 [Field Report]

- 24105 Andaya, Leonard Yuzon. A Short Introduction to Some Archival Resources in the Netherlands, Spain, and Portugal for the Study of Southeast Asia. 106-109.
- 24106 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 110.

24巻2号 [Vol. 24, No. 2] 1986年9月 [Sept. 1986]

**Problem Soils in Southeast Asia**

- 24201 Supiandi Sabiham; and Furukawa, Hisao. A Study of Floral Composition of Peat Soil in the Lower Batang Hari River Basin of Jambi, Sumatra. 113-132.  
24202 Wongsomsak, Sompob. Salinization in Northeast Thailand. 133-153.  
24203 Attanandana, Tasnee; and Vacharotayan, Sorasith. Acid Sulfate Soils: Their Characteristics, Genesis, Amelioration and Utilization. 154-180.

**論文 [Article]**

- 24204 Duff-Cooper, Andrew. Alternation and Other Modes of Periodicity from a Balinese Form of Life in Western Lombok. 181-196.

**資料・研究ノート [Note]**

- 24205 青木恵理子 [Aoki, Eriko]. 中部フローレスにおける神秘力と性 [Mystic Power and Sex in Central Flores]. 197-223.

**現地通信 [Field Report]**

- 24206 片山 裕 [Katayama, Yutaka]. 1986年2月16日のコーリー [Corazon Aquino on Feb. 16, 1986]. 224-225.  
24207 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 226.

24巻3号 [Vol. 24, No. 3] 1986年12月 [Dec. 1986]

**論文 [Article]**

- 24301 Fukui, Seiichi. An Economic Analysis of Traditional Water Management Institutions in Northern Thailand. 229-242.

**資料・研究ノート [Notes]**

- 24302 Wakatsuki, Toshiyuki; Saidi, Amrizal; and Rasyidin, Azwar. Soils in the Toposequence of the Gunung Gadut Tropical Rain Forest, West Sumatra. 243-262.  
24303 高谷好一; アリス・ポニマン [Takaya, Yoshikazu; and Poniman, Aris]. 熱帯多雨林沿岸部の生活——東スマトラ、リアウ州の実例—— [Traditional Life and Its Transformation among the Melayu People on the East Coast of Sumatra]. 263-288.  
24304 合田 澪 [Goda, Toh]. オッチャス老の死——ボントック族の葬礼と世界観—— [The Death of Old Odchas— A Study on the Bontok Funeral Ceremony and Cosmology—]. 289-317.

**現地通信 [Field Report]**

- 24305 Aung-Thwin, Michael. Burma Studies News. 318-321.

24306 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 322-324.

## 24巻4号 [Vol. 24, No. 4] 1987年3月 [March 1987]

### 論文 [Article]

- 24401 Thee Kian Wie; and Yoshihara, Kunio. Foreign and Domestic Capital in Indonesian Industrialization. 327-349.
- 24402 Kuribayashi, Sei. A Medium-term Macroeconometric Model for Economic Planning in Indonesia. 350-376.
- 24403 牟田博光 [Muta, Hiromitsu]. インドネシアの教育とマンパワー [Education and Manpower of Indonesia]. 377-402.
- 24404 桃木至朗 [Momoki, Shiro]. ヴェトナム李朝の軍事行動と地方支配 [Military Actions and Control of Local Powers in Vietnam under the Ly Dynasty]. 403-417.

### 資料・研究ノート [Note]

- 24405 福島真人 [Fukushima, Masato]. 閉ざされた言語——サミン運動とその言語哲学 [The Closed Language—The Samin Movement and Its Philosophy of Language—]. 418-435.

### 現地通信 [Field Report]

- 24406 中川 敏 [Nakagawa, Satoshi]. 「インドネシア考」のための覚書き [A Memorandum for 'Indonesian Studies']. 436.

## 25巻1号 [Vol. 25, No. 1] 1987年6月 [June 1987]

### 渡部忠世教授退官記念号

——熱帯アジアの稲と稲作——

[Commemorative Issue on the Retirement of Professor Tadayo Watabe

——Rice and Rice Culture in Tropical Asia——]

- 25101 片山忠夫 [Katayama, C. Tadao]. 熱帯アジアの野生稲の分布とその特性 [Distribution and Some Characteristics of Wild Rice, Genus *Oryza*, in Tropical Asia]. 3-27.
- 25102 高橋成人 [Takahashi, Norindo]. アジア栽培稲の生態型と生態的特性 [Characters and Differentiation of Ecotypes in Rice, *Oryza sativa* L. ]. 28-38.
- 25103 角田重三郎 [Tsunoda, Shigesaburo]. アジアの陸稲、その分布と特性と系譜 [Distribution, Properties and Phylogenetic Relations of Asian Upland Rice Varieties]. 39-50.
- 25104 井之上準 [Inouye, Jun]. 東南アジアの浮稲とその生態 [On Floating Rice and Its Ecological Traits in Southeast Asia]. 51-61.
- 25105 Horie, Takeshi. A Model for Evaluating Climatic Productivity and Water Balance of Irrigated Rice and Its Application to Southeast Asia. 62-74.
- 25106 黒田俊郎 ; 宮川修一 [Kuroda, Toshiro; and Miyagawa, Shuichi]. 東北タイ・ドンデーン村に

おける天水田稲作の収量 [Don Daeng Village in Northeast Thailand: Paddy Yield of Rain-fed Fields]. 75-84.

- 25107 五十嵐忠孝 [Igarashi, Tadataka]. 農作業、季節、星——西ジャワ・ブリアガン高地における畑地耕作をめぐる季節性と農作業のタイミング—— [Agricultural Operations, Seasonality, and Stars: Annual Cycle of Upland Cultivation in a Sundanese Village, West Java]. 85-108.
- 25108 広瀬昌平 [Hirose, Shohei]. インドネシア、ランボン州の水稲作と陸稲作 [Lowland and Upland Rice Cultivation in Lampung Province, Indonesia]. 109-124.
- 25109 安藤和雄 [Ando, Kazuo]. ベンガル・デルタ低地部の稲作——バングラデシュ東部地方におけるアウス・散播アマンの混播栽培とパーボイルド米に関するノート—— [Rice Cultivation in the Low-lying Areas of the Bengal Delta —A Note on Mixed Aus and Broadcast Aman Cultivation and Parboiled Rice in the Eastern Region of Bangladesh—]. 125-139.
- 25110 藤原宏志 [Fujiwara, Hiroshi]. プラント・オパール分析による弥生時代水田遺構の検討——とくに鳥取・目久美遺跡および青森・垂柳遺跡の水田遺構について—— [Studies on Paddy Fields of the Yayoi Period by Plant Opal Analysis: Ancient Paddy Fields at the Megumi Site in Tottori Prefecture and the Tareyanagi Site in Aomori Prefecture]. 140-150.

#### 書評論文 [Book Review]

- 25111 高村奉樹 [Takamura, Tomoki Y]. マレー半島における稲作の展開とその地域性 [Development of Rice-growing and Its Diversity in the Malay Peninsula]. 151-160.
- 25112 渡部忠世教授研究業績目録 [Publications of Professor Tadayo Watabe]. 161-168.
- 25113 渡部忠世教授略歴 [Personal History of Professor Tadayo Watabe]. 169.

#### 現地通信 [Field Report]

- 25114 桜井由躬雄 [Sakurai, Yumio]. 廃虚のない町 [A City without Ruins]. 170-171.
- 25115 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 172-174.

### 25巻2号 [Vol. 25, No. 2] 1987年9月 [Sept. 1987]

#### 論文 [Articles]

- 25201 Kaneko, Yukio; and Tampubolon, Hasudungan. The Development of the Manufacturing Sector in Indonesia. 177-204.
- 25202 深見純生 [Fukami, Sumio]. 三仏斎の再検討——マラッカ海峡古代史研究の視座転換—— [Reexamination of *San-fo-ch'i* —Change of Perspective of the Study on Early History of the Western Part of Insular Southeast Asia—]. 205-232.

#### 資料・研究ノート [Notes]

- 25203 橋本 卓 [Hashimoto, Takashi]. タイ南部国境県問題とマレー・ムスリム統合政策 [The Problems in the Southern Border Provinces of Thailand and the Integration Policy to the Malay-Muslims]. 233-253.

- 25204 Mak Lau-Fong. Chinese Subcommunal Elites in 19th-century Penang. 254-264.  
 25205 Azizah Kassim. The Unwelcome Guests: Indonesian Immigrants and Malaysian Public Responses. 265-278.  
 25206 Shibayama, Mamoru. Input/Output Methods for Thai—Development of a Database and a Computer Concordance for the Three Seals Law of Thailand—. 279-296.

**現地通信 [Field Report]**

- 25207 鈴木静夫 [Suzuki, Shizuo]. ペドロとホセ、二人のアバド・サントス [Pedro and Jose: Two Men Called Abad Santos]. 297-298.  
 25208 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 299-300.

**25巻3号 [Vol. 25, No. 3] 1987年12月 [Dec. 1987]**

**市村真一教授退官記念号**

——東南アジア経済・社会の変容——

[Commemorative Issue on the Retirement of Professor Shinichi Ichimura  
 ——Economic and Social Changes in Southeast Asia——]

- 25301 Hill, Hal. Patterns of Trade and Industrialization in ASEAN. 303-316.  
 25302 Lim Chong-Yah. Trade in Manufactures: A Singapore Perspective. 317-341.  
 25303 Prasert Yamklung. Economic Development and Rural-urban Disparities in Thailand. 342-362.  
 25304 Tan, Mély G. The Role of Ethnic Chinese Minority in Development: The Indonesian Case. 363-382.  
 25305 Thee Kian Wie. Industrial and Foreign Investment Policy in Indonesia since 1967. 383-396.  
 25306 Wong, John. China's Emerging Economic Relationship with Southeast Asia. 397-411.  
 25307 Yoshihara, Kunio. The Problem of Continuity in Chinese Businesses in Southeast Asia. 412-429.  
 25308 矢野 暢 [Yano, Toru]. 「介入体制」としてのタイ国政治 [Thailand as a Penetrated System]. 430-446.  
 25309 土屋健治 [Tsuchiya, Kenji]. タマン・シスワとインドネシア現代政治——「9月30日事件」への対応をめぐって—— [Taman Siswa in the Contemporary Political Situation of Indonesia: A Preliminary Study]. 447-463.  
 25310 坪内良博 [Tsubouchi, Yoshihiro]. マレー農村人口の変動的性格について——クランタン・ガロック村開拓後史—— [On the Mobile Character of the Malay Village Population —A Feature of the Post-settlement Population of Galok, Kelantan—]. 464-475.  
 25311 福井捷朗 [Fukui, Hayao]. 東北タイ・ドンデーン村：人口動態（第2報）——死亡・出生率による人口移動の推定—— [Don Daeng Village in Northeast Thailand: Population (2) —An Estimate of Migration by Mortality and Fertility Rates—]. 476-494.  
 25312 江崎光男 [Ezaki, Mitsuo]. 石油価格・財政金融政策・構造変化のマクロ・インパクト——タ

イ経済の一般均衡（CGE）分析——[Macro Impacts of Oil Shocks, Fiscal Policies and Structural Changes —A CGE Analysis of the Thai Economy—]. 495–508.

25313 市村真一教授研究業績目録 [Publications of Professor Shinichi Ichimura]. 509–516.

25314 市村真一教授略歴 [Personal History of Professor Shinichi Ichimura]. 517–518.

#### 現地通信 [Field Report]

25315 吉原久仁夫 [Yoshihara, Kunio]. マレーシアの企業家に関する情報源 [Sources of Information on Businessmen in Malaysia]. 519–520.

25316 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 521–522.

### 25巻4号 [Vol. 25, No. 4] 1988年3月 [March 1988]

#### 西ジャワ・プリアガン地方の健康・生態・人口

[Health, Ecology and Demography in the Priangan Highlands, West Java]

25401 鈴木庄亮 [Suzuki, Syosuke]. スンダ農民の保健生態と生活環境 [Sickness and Death of Sundanese and Javanese Villagers: Environmental and Social Factors]. 525–544.

25402 小山 洋 [Koyama, Hiroshi]. 西ジャワ集落における農民の保健行動からみた公的医療機関（プスケスマス）の問題点 [Problems of a Public Health Center (*puskesmas*) in Rural Indonesia: A Study of Health Behavior of Farmers in West Java]. 545–561.

25403 兵頭圭介 [Hyodo, Keisuke]. インドネシア西ジャワ州バンドン市のベチャ（人力車）車夫の体力と筋力について [Physique and Muscle Strength of *Becak* Drivers in Bandung City, West Java, Indonesia]. 562–569.

25404 門司和彦 [Moji, Kazuhiko]. 西ジャワ・スンダ農民の仕事——その季節による変動と性・年齢による差異—— [Work of Sundanese Villagers with Particular Reference to Seasonal Variations and Differences by Sex and Age]. 570–592.

25405 五十嵐忠孝 [Tadataka, Igarashi]. 西ジャワ・プリアガン地方のスンダ人農民社会における早婚・多産の文化・社会的背景 [Cultural Practices Favoring Young Marriage and High Fertility: The Case of a Priangan Sundanese Village, West Java]. 593–624.

---

#### 論文 [Article]

25406 Odano, Sumimaru; Sabilin, Syahiril; and Diwandono, Soedradjad. Indonesian Financial Development —From Government Intervention to Liberalization—. 625–652.

#### 書評論文 [Review Article]

25407 小林和正 [Kobayashi, Kazumasa]. 人口分析の側面 [Demographic Analysis]. 653–658.

#### 現地通信 [Field Report]

25408 遅沢克也 [Osozawa, Katsuya]. 森の魔物たち [Demons of the Forest]. 659–660.

26巻1号 [Vol. 26, No. 1] 1988年6月 [June 1988]

論文 [Articles]

- 26101 Shimizu, Hiroshi. Dutch-Japanese Competition in the Shipping Trade on the Java-Japan Route in the Inter-war Period. 3-23.  
26102 Sukanya Nitungkorn. The Problems of Secondary Education Expansion in Thailand. 24-41.

資料・研究ノート [Notes]

- 26103 Yagi, Tamotsu; and Itoh, Minoru. Physical Fitness of Thai Children and Their Environment. 42-54.  
26104 高坂宏一 [Takasaka, Kouichi]. シンジャワ・スンダ農村婦人の出産後の無月経期間 [The Duration of Postpartum Amenorrhea in a Sundanese Village]. 55-63.  
26105 アリス・ポニマン ; 高谷好一 [Poniman, Aris; and Takaya, Yoshikazu]. ロンボク島の高地の伝統的稲作 [Traditional Rice Cultivation on Lombok]. 64-73.  
26106 中村重久 [Nakamura, Shigehisa]. インドネシア沖の地震による津波前駆音の推定と応用について [On Estimated Acoustic Tsunami Precursor Caused by Earthquake Undersea off the Indonesian Coast and Its Application]. 74-85.

書評論文 [Review Article]

- 26107 Aye Chan. The Nature of Land and Labour Endowments to Sasana in Medieval Burmese History: Review of the Theory of "Merit-path-to-salvation." 86-95.

書評 [Book Reviews]

- 26108 加藤 剛 [Kato, Tsuyoshi]. Shamsul A. B., *From British to Bumiputera Rule: Local Politics and Rural Development in Peninsular Malaysia*. 96.  
26109 中川 敏 [Nakagawa, Satoshi]. Cécile Barraud, *Tanebar-Evav: une société de maisons tournée vers le large*. 97-98.

現地通信 [Field Report]

- 26110 内田晴夫 [Uchida, Haruo]. ハオールの村から [From the Village in the Haor, Bangladesh]. 99-100.  
26111 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 101-102.

26巻2号 [Vol. 26, No. 2] 1988年9月 [Sept. 1988]

**Socio-Economic Change and Cultural Transformation in Rural Malaysia**  
——A Preliminary Research Report——

- 26201 Kato, Tsuyoshi ; and Shamsul A.B. Editors' Introduction. 105-108.

- 26202 Kato, Tsuyoshi. Agricultural Rituals and Rice Cultivation in Negeri Sembilan: A Reconstruction from Oral History. 109-131.
- 26203 Azizah Kassim. Women, Land and Gender Relations in Negeri Sembilan: Some Preliminary Findings. 132-149.
- 26204 Norhalim Hj. Ibrahim. Some Observations on *Adat* and *Adat* Leadership in Rembau, Negeri Sembilan. 150-165.
- 26205 Maeda, Narifumi. A Note on Frontier Settlements in Johor. 166-174.
- 26206 Sekimoto, Teruo. A Preliminary Report on the Javanese in Selangor, Malaysia. 175-190.
- 26207 Mohamed Salleh Lamry. Economic Change and Social Stratification in Kampung Sungai Limau, Selangor, Malaysia. 191-204.
- 26208 Ramli Mohamed. The New Economic Policy and the Muda Irrigation Scheme: Research Agenda for Kampung Kubang Jawi. 205-217.
- 26209 Shamsul A.B. Development and Change in Rural Malaysia: The Role of the Village Development Committee. 218-228.

#### 書評 [Book Reviews]

- 26210 高谷好一 [Takaya, Yoshikazu]. Kenneth R. Hall, *Maritime Trade and State Development in Early Southeast Asia*. 229.
- 26211 河野泰之 [Kono, Yasuyuki]. Gerald G. Marten(ed.) , *Traditional Agriculture in Southeast Asia: A Human Ecology Perspective*. 229-230.
- 26212 根本 敬 [Nemoto, Kei]. Khin Yi, *The Dobama Movement in Burma (1930-1938)*. 230-232.

#### 現地通信 [Field Report]

- 26213 吉川利治 [Yoshikawa, Toshiharu]. タイ国立公文書館の「大東亜」戦争関係資料 [Materials on the Second World War in the National Archives Division of Thailand]. 233-234.
- 26214 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 235-238.

### 26巻3号 [Vol. 26, No. 3] 1988年12月 [Dec. 1988]

#### 論文 [Articles]

- 26301 桃木至朗 [Momoki, Shiro]. ヱトナム李朝の地方行政単位と地方統治者 [Local Administrative Units and Local Governors in Vietnam under Lý Dynasty]. 241-265.
- 26302 北原 淳 [Kitahara, Atsushi]. タイ農村における就業構造の地域差 [A Note on Regional Differences in Occupational Structure in Rural Thailand]. 266-292.
- 26303 玉田芳史 [Tamada, Yoshifumi]. タイの実業家政党と軍——首相府令66/2523を中心として—— [Political Parties and the Military in Thailand: Prime Minister's Office Order 66/2523]. 293-307.
- 26304 Supiandi Sabiham. Studies on Peat in the Coastal Plains of Sumatra and Borneo —Part I: Physiography and Geomorphology of the Coastal Plains—. 308-335.



### 書評 [Book Reviews]

- 26305 森山幹弘 [Moriyama, Mikihiro]. F.S. Eringa, *Soendaas-Nederlands Woordenboek*. 336-338.  
26306 土屋健治 [Tsuchiya, Kenji]. J.D. Legge, *Intellectuals and Nationalism in Indonesia: A Study of the Following Recruited by Sutan Sjahrir in Occupation Jakarta*. 338-340.

### 現地通信 [Field Report]

- 26307 福井捷朗 [Fukui, Hayao]. 「東南アジアセミナー」臨地研修 [Southeast Asian Seminar in Thailand]. 341-342.  
26308 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 343-346.

## 26巻4号 [Vol. 26, No. 4] 1989年3月 [March 1989]

### 〈特集〉マレー世界のなかのマダガスカル [Madagascar in the Malay World]

- 26401 高谷好一 [Takaya, Yoshikazu]. 編者のことば [Editor's Note]. 349-351.  
26402 古川久雄 [Furukawa, Hisao]. マダガスカル乾燥地帯の土地利用 [Land Use in the Dry Zone of Madagascar]. 352-366.  
26403 田中耕司 [Tanaka, Koji]. マダガスカルのイネと稲作 [Rice and Rice Culture in Madagascar]. 367-393.  
26404 深澤秀夫 [Fukazawa, Hideo]. 稲作を生きる、稲と稲作の実践と戦略——北部マダガスカル Tsimihety族に於ける稲作と協同労働—— [The Tsimihety Peasants' Practices and Strategies of Rice Cultivation in Northern Madagascar]. 394-416.  
26405 前田成文 [Maeda, Narifumi]. ベフディ——ベツィミサラカ族とシハナカ族の狭間で—— [Befody: A Settlement between the Betsimisaraka and the Sihanaka]. 417-429.

### 座談会 [A Discussion]

- 26406 高谷好一ほか [Takaya, Yoshikazu *et al.*]. マダガスカルの農耕——そのマレー的要素について—— [Agriculture of Madagascar: Its Malay Elements]. 430-454.

### 書評 [Book Reviews]

- 26407 江崎光男 [Ezaki, Mitsuo]. ワリン・ウォンハンチャオ；池本幸生（編），『タイの経済政策——歴史・現状・展望——』 [Warin Wonghanchao; and Yukio Ikemoto (eds.), *Economic Development Policy in Thailand: History, Present Situation and Prospect*]. 455-456.  
26408 Yoshihara, Kunio. Melanie Beresford, *Vietnam: Politics, Economics and Society*. 456-457.

### 現地通信 [Field Report]

- 26409 桃木至朝 [Momoki, Shiro]. ハノイ——庶民の味 [Popular Dishes of Hanoi]. 458-459.  
26410 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 460-463.

27巻1号 [Vol. 27, No. 1] 1989年6月 [June 1989].

論文 [Articles]

- 27101 Furukawa, Hisao; and Pichai Wichaidit. Salt and Sinkhole—Corrosion as a Principal Factor Governing Topography and Mass Movement in Northeast Thailand—. 3–34.
- 27102 Supiandi Sabiham; and Sumawinata Basuki. Studies on Peat in the Coastal Plains of Sumatra and Borneo—Part II: The Clay Mineralogical Composition of Sediments in Coastal Plains of Jambi and South Kalimantan—. 35–54.
- 27103 石井和子 [Ishii, Kazuko]. 『サン・ヒアン・カマハーヤーニカン (聖大乘論)』にみる古ジャワの密教 [Old Javanese Esoteric Buddhism as Seen in the *Sang Hyang Kamahāyānikan*]. 55–70.
- 27104 土佐弘之 [Tosa, Hiroyuki]. インドネシア権威主義体制と学生運動——政治体制と社会運動との相互作用過程に焦点をあてて—— [The Student Movement under the Authoritarian Regime in Indonesia, with Particular Reference to the Period 1977–1978]. 71–108.

資料・研究ノート [Note]

- 27105 小菅伸彦; 松本保美 [Kosuge, Nobuhiko; and Matsumoto, Yasumi]. インドネシアにおける新計量モデルの開発 [The New Version of Econometric Model in Indonesia]. 109–127.

書評 [Book Reviews]

- 27106 大木 昌 [Oki, Akira]. Anthony Reid, *Southeast Asia in the Age of Commerce* 1450–1680, Volume One: *The Lands below the Winds*. 128–129.
- 27107 倉沢愛子 [Kurasawa, Aiko]. Colin, Wild; and Peter Carey (eds.), *Born in Fire: The Indonesian Struggle for Independence*. 129–131.

現地通信 [Field Report]

- 27108 加藤 剛 [Kato, Tsuyoshi]. マレー農村にて [In a Malay Village]. 132–133.
- 27109 寄贈図書目録 [Selected Listing of Books Received by the Library]. 134.

27巻2号 [Vol. 27, No. 2] 1989年9月 [Sept. 1989]

**Oei Tiong Ham Concern: The First Business Empire of Southeast Asia**

- 27201 Yoshihara, Kunio. Introduction. 137–155.
- 27202 Onghokham. Chinese Capitalism in Dutch Java. 156–176.
- 27203 Coppel, Charles A. Liem Thian Joe's Unpublished History of Kian Gwan. 177–187.
- 27204 Interview: Oei Tjong Ie. 188–220.
- 27205 Interview: Oei Tjong Tjay. 221–265.

### 書評 [Book Reviews]

- 27206 高阪 章 [Kohsaka, Akira]. Robert B. Dickie; and Thomas A. Layman, *Foreign Investment and Government Policy in the Third World: Forging Common Interests in Indonesia and Beyond*. 266–267.
- 27207 池本幸生 [Ikemoto, Yukio]. Phisit Pakkasem, *Leading Issues in Thailand's Development Transformation: 1960–1990*. 267–269.

### 現地通信 [Field Report]

- 27208 河野泰之 [Kono, Yasuyuki]. ドンデー村の三人姉妹 [Three Sisters in Don Daeng Village]. 270–271.
- 27209 寄贈図書目録 [Selected Listing of Books Received by the Library]. 272.

### 27巻3号 [Vol. 27, No. 3] 1989年12月 [Dec. 1989]

- 27301 桜井由男雄 [Sakurai, Yumio]. 陳朝期紅河デルタ開拓試論 1. 西氾濫原の開拓 [The Red River Delta in the Tran Dynasty (1225–1440). I]. 275–300.
- 27302 鳥飼行博 [Torikai, Yukihiro]. フィリピン米作農村における危険分散とワーク・シェアリング [Risk Spreading and Work Sharing in Philippine Rice-farming Communities]. 301–316.
- 27303 Azizah Kassim. Patterns of Land Ownership and Inheritance in Negeri Sembilan: Some Implications for Agricultural Development. 317–338.
- 27304 Supiandi Sabiham. Studies on Peat in the Coastal Plains of Sumatra and Borneo—Part III: Micromorphological Study of Peat in Coastal Plains of Jambi, South Kalimantan and Brunei—. 339–351.
- 27305 Kimura, Masataka. The Revolution and Realignment of Political Parties in the Philippines (December 1985–January 1988) : With a Case in the Province of Batangas. 352–379.

### 書評 [Book Review]

- 27306 前田成文 [Maeda, Narifumi]. Hendrik M. J. Maier, *In the Center of Authority: The Malay Hikayat Merong Mahawangsa*. Studies on Southeast Asia, No. 4. 380–381.

### 現地通信 [Field Report]

- 27307 山田 勇 [Yamada, Isamu]. サゴヤシの原生地を求めて [Natural Stands of Sago Palm in East Malesia]. 382–384.
- 27308 寄贈図書目録 [Selected Listing of Books Received by the Library]. 385–386.

### 27巻4号 [Vol. 27, No. 4] 1990年3月 [March. 1990]

- 27401 江崎光男 [Ezaki, Mitsuo]. インドネシアにおける逆オイル・ショックと構造調整政策——C G E モデルに基づく1980年と1985年の比較静学分析—— [Oil Price Declines and Structural Ad-

- justment Policies in Indonesia: A Static CGE Analysis for 1980 and 1985]. 389-405.
- 27402 鳥飼行博 [Torikai, Yukihiko]. フィリピン漁村の経済構造 [Economic Structure of Fishing Villages in the Philippines]. 406-426.
- 27403 根本 敬 [Nemoto, Kei]. 1930年代ビルマ・ナショナリズムにおける社会主義受容の特質——タキン党の思想形成を中心に—— [The Acceptance of Socialism by Burmese Nationalists during the 1930s—Doubàma Asfayōun's Ideological Formation—]. 427-447.
- 27404 春山成子; 大矢雅彦 [Haruyama, Sigeko; and Oya, Masahiko]. タイ南部スラタニ (Surat Thani) の1988年11月災害 [Flooding due to Heavy Rainfall in Surat Thani, Thailand, in November 1988]. 448-460.
- 27405 Supiandi Sabiham. Studies on Peat in the Coastal Plains of Sumatra and Borneo—Part IV: A Study of the Floral Composition of Peat in Coastal Plain of Brunei, Borneo—. 461-484.
- 27406 Kingston, Jeff. Agricultural Involution among Lampung's Javanese? 485-507.

#### 書評 [Book Reviews]

- 27407 植村泰夫 [Uemura, Yasuo]. 加納啓良, 『インドネシア農村経済論』 [Hiroyoshi Kano, *The Rural Economy in Indonesia*]. 508-509.
- 27408 新田栄治 [Nitta, Eiji]. Charles Higham, *The Archaeology of Mainland Southeast Asia*. 510-512.

#### 現地通信 [Field Report]

- 27409 江崎光男 [Ezaki, Mistuo]. フィリピンの援助問題 [The Question of Financial Assistance for the Philippines]. 513-515.

### 28巻1号 [Vol. 28, No. 1] 1990年6月 [June 1990]

- 28101 Maeda, Narifumi. Household and Religion: The Problem of Identity in a Bugis Community. 3-19.
- 28102 Patamawadee Pochanukul. The Development of Publicly-conducted Crop Research in Thailand: An Application of the Theory of Induced Institutional Innovation. 20-44.
- 28103 Hiroyuki, Watanabe *et al.* On Trees in Paddy Field in Northeast Thailand. 45-54.
- 28104 上田曜子 [Ueda, Yoko]. バンコクの経済成長とバンコク近郊における資本家形成——ナコーンパトム県及びラーチャブリー県の事例—— [The Economic Growth of Bangkok and the Formation of Capitalists in Bangkok's Suburban Areas—Case Studies of Nakhon Pathom and Ratchaburi—]. 55-82.
- 28105 馬場雄司 [Baba, Yuji]. シップソーンパンナー王国の水利組織について——ツァオロンパーサーの機能に関して—— [Irrigation System of the Sipsong Panna: The Function of Tsalong Phasat]. 83-107.

#### 書評 [Book Reviews]

- 28106 木之内秀彦 [Kinouchi, Hidehiko]. Andrew J. Rotter, *The Path to Vietnam: Origins of the*

*American Commitment to Southeast Asia*. 123.

28107 阿部健一 [Abe, Ken-ichi]. Earl of Cranbrook, ed, *Malaysia*. 124-125.

#### 現地通信 [Field Report]

28108 西村重夫 [Nishimura, Shigeo]. いま, パンチャシラ教育は [Pancasila Education Today]. 126-127.

### 28巻2号 [Vol. 28, No. 2] 1990年9月 [Sept. 1990]

28201 Koizumi, Junko. Why the Kula Wept: A Report on the Trade Activities of Kula in Isan at the End of the 19th Century. 131-153.

28202 Somboon J. R. P. Coastal Geomorphic Response to Future Sea-level Rise and Its Implication for the Low-lying Areas of Bangkok Metropolis. 154-170.

28203 Abbi, Anvita. Reduplication in Tibeto Burman Languages of South Asia. 171-181.

28204 竹田晋也 [Takeda, Shinya]. 北タイ地方におけるラック作りの技術と宿主木について [Lac Cultivation and Host Tree Plantation in Northern Thailand]. 182-205.

28205 坪内良博 [Tsubouchi, Yoshihiro]. ラッフルズの19世紀初頭ジャワ人口統計の再検討——初期センサスの問題点をめぐって—— [A Re-examination of Raffles's Statistics on the Population of Java in the Early Nineteenth Century—Some Problems of Early Censuses—]. 206-221.

28206 井上真 [Inoue, Makoto]. クニャー・ダヤク族による焼畑システムの変容 [Changes in the Swidden System of the Kenyah Dayak Tribe]. 222-255.

#### 書評 [Book Review]

28207 林行夫 [Hayashi, Yukio]. 北原淳, 『タイ農村社会論』 [Atushi Kitahara, *Thai Peasant Society*]. 256-258.

#### 現地通信 [Field Report]

28208 田中耕司 [Tanaka, Koji]. ベトナム側メコン・デルタ管見 [A View of the Mekong Delta from the Vietnam Side]. 259-261.

### 28巻3号 [Vol. 28, No. 3] 1990年12月 [Dec. 1990]

#### <特集> バングラデシュの農業と農村

#### [Agricultural and Rural Development in Bangladesh]

28301 海田能宏 [Kaida, Yoshihiro]. バングラデシュの農村発展のための共同研究 [The Framework of the Japan-Bangladesh Joint Study on Agricultural and Rural Development in Bangladesh]. 3-23.

28302 安藤和雄; 田中耕司; ケンヤブ・ラル・マハラジャン; 向井史郎 [Ando, Kazuo; Tanaka, Koji; Maharjan, Keshav L. ; and Mukai, Shiro]. ペンガルデルタ低地部の作付体系——技術変容と

作付体系展開の地域間比較—— [Cropping Systems in Low-Lying Areas of the Bengal Delta——A Regional Comparison of Technological Changes and Development of Cropping Systems——]. 24-40.

- 28303 田中耕司；安藤和雄；内田晴夫；ムハマッド・セリム [Tanaka, Koji; Ando, Kazuo; Uchida, Haruo; and Salim, Muhammad]. バングラデシュ・ハオール農村の水文環境と稲基幹作付様式の展開 [A Case Study on Hydrologic Conditions and Development of Rice-Based Cropping Patterns in a Haor Village in Bangladesh]. 41-58.
- 28304 野間晴雄 [Noma, Haruo]. 英領期ベンガル低地の開発と農業——史料による歴史地理的素描—— [Land Reclamation and Agriculture in the Bengal Lowland in the British Period——A Historicogeographic Sketch——]. 59-91.
- 28305 河合明宣；安藤和雄 [Kawai, Akinobu; and Ando, Kazuo]. ベンガルデルタの村落形成についての覚え書 [The Formation of Settlements in the Bengal Delta]. 92-106.
- 28306 筒井琢磨；五十嵐忠孝；坪内良博 [Tsutsui, Takuma; Igarashi, Tadataka; and Tsubouchi, Yoshihiro]. バングラデシュの農村における出生力 [Fertility in Bangladesh Villages]. 107-121.
- 28307 宇佐見晃一；ムハマッド・アフザル・ホセイン [Usami, Koichi; and Hossain, M. Afzal]. バングラデシュ農村における労働力・農地流動・小農経済——先進農村と後進農村の事例比較—— [Labor, Land Transaction and Peasant Economy in Rural Bangladesh——A Comparison of Developed and Less Developed Villages——]. 122-140.
- 28308 海田能宏；ケジャブ・ラル・マハラジャン [Kaida, Yoshihiro; and Maharjan, Keshav L.]. バングラデシュの〈むら〉と〈まち〉のインターアクション [Rural-Urban Interaction and Its Implication for Rural Development in Bangladesh]. 141-154.
- 28309 熊谷宏 [Kumagai, Hiroshi]. バングラデシュにおける農村開発の基本的政策と農協の役割 [Rural Development Policies and the Role of Comprehensive Village Cooperatives in Bangladesh]. 155-165.
- 28310 西村博行 [Nishimura, Hiroyuki]. 農業・農村開発に関する農民の行動と意向 [Farmers' Views on Agricultural and Rural Development——Their Incorporation into Rural Development Planning in Bangladesh——]. 166-177.

#### 書評 [Book Reviews]

- 28311 福島真人 [Fukushima, Masato]. 西野節男, 『インドネシアのイスラム教育』 [Setsuo Nishino, *The Islamic Education in Indonesia*]. 178-179.
- 28312 土屋健治 [Tsuchiya, Kenji]. W. G. J. Rummelink, *Emperor Pakubuwana II, Priyayi & Company and the Chinese War*. 180-181.
- 28313 Abdullah, Taufik. Jane Drakard, *A Malay Frontier: Unity and Duality in a Sumatran Kingdom*. 182-186.

#### 現地通信 [Field Report]

- 28314 綾部恒雄 [Ayabe, Tsuneo]. 第4回タイ研究国際会議（1990年5月11日～13日） [The 4th International Conference on Thai Studies (11~13 May, 1990)]. 187-188.

28巻4号 [Vol. 28, No. 4] 1991年3月 [March 1991]

創立25周年記念特集

Twenty-Fifth Anniversary Issue

- 28401 Yano, Toru. Preface. 3-4.
- 28402 Tamada, Yoshifumi. *Itthiphon* and *Amnat*: An Informal Aspect of Thai Politics. 5-16.
- 28403 Tsuchiya, Kenji. Popular Literature and Colonial Society in Late-Nineteenth-Century Java—*Cerita Nyai Dasima*, the Macabre Story of an Englishman's Concubine. 17-30.
- 28404 Tsubouchi, Yoshihiro. A Re-examination of Raffles's Statistics on the Population of Java in the Early Nineteenth Century—Some Problems of Early Censuses—. 31-43.
- 28405 Takaya, Yoshikazu. People and Settlements in Tropical Lowland, with Special Reference to Their Unstability. 44-55.
- 28406 Kono, Yasuyuki. Rainfed Rice Culture and Population Growth—A Case Study at a Northeast Thai Village—. 56-67.
- 28407 Fukui, Hayao. The Rice/Population Balance in a Northeast Thai Village. 68-84.
- 28408 Maeda, Narifumi. Agricultural Rites in South Sulawesi. 85-93.
- 28409 Furukawa, Hisao. Genealogy of Miniature Wet Rice Fields—The Spread of Oasis Culture—. 94-112.
- 28410 Tanaka, Koji. A Note on Typology and Evolution of Asian Rice Culture—Toward a Comparative Study of the Historical Development of Rice Culture in Tropical and Temperate Asia—. 113-123.
- 28411 Kaida, Yoshihiro. Irrigation Landscapes and Waterscapes in the Rice Land of Tropical Asia. 124-135.
- 28412 Ezaki, Mitsuo. ASEAN Prospects for NIC Status. 136-153.
- 28413 Kohsaka, Akira. Financial Development in the Philippines in the 1980s. 154-168.

29巻1号 [Vol. 29, No. 1] 1991年6月 [June 1991]

- 29101 Hamonic, Gilbert. God, Divinities and Ancestors. For the Positive Representation of a "Religious Plurality" in Bugis Society, South Sulawesi, Indonesia. 3-34.
- 29102 Katagiri, Shigeo; Yamakura, Takuo; and Lee, Seng Hua. Properties of Soils in Kerangas Forest on Sandstone at Bako National Park, Sarawak, East Malaysia. 35-48.
- 29103 Somboon Jarupongsakul; Hattori, Tomoo; and Pichai Wichaidit. Salinization in the Holocene Fan-delta of Maekhleng River, Thailand. 49-63.
- 29104 西井涼子 [Nishii, Ryoko]. 南タイの村落政治にみられるムスリム—仏教徒関係——「サムサム」的ムスリム社会における宗教と政治—— [The Relationship between Muslims and Buddhists in a Southern Thai Village: Religion and Politics in "Sam Sam" Muslim Society]. 64-104.

**現地通信 [Field Report]**

29105 阿部健一 [Abe, Ken-ichi]. 揚子江の南 [The Southern Reach of the Yangtse River]. 105-106.

**29巻2号 [Vol. 29, No. 2] 1991年9月 [Sept. 1991]**

29201 Kato, Tsuyoshi. When Rubber Came: The Negeri Sembilan Experience. 109-157.

29202 Ooi Giok Ling. British Colonial Health Care Development and the Persistence of Ethnic Medicine in Peninsular Malaysia and Singapore. 158-178.

29203 Duff-Cooper, Andrew. Balinese Exchange: Replication and Reaffirmation of "The One." 179-204.

29204 Kimura, Masataka. Martial Law and Realignment of Political Parties in the Philippines. (September 1972-February 1986) : With a Case in the Province of Batangas. 205-226.

**現地通信 [Field Report]**

29205 新田栄治 [Nitta, Eiji]. 東北タイ生産遺跡発掘プロジェクト——ノンヤン遺跡とバンドンブロン遺跡—— [Excavation of Ancient Manufacturies in Northeast Thailand: The Non Yang and Ban Dong Phlong Ruines]. 227-232.

**29巻3号 [Vol. 29, No. 3] 1991年12月 [Dec. 1991]**

**〈特集〉 東南アジア島嶼部農業の系譜**

**[Genealogy of Agriculture in the Southeast Asian Archipelago]**

29301 古川久雄 [Furukawa, Hisao]. マライシアの農耕系譜 [Genealogy of Agriculture in Malaysia]. 235-305.

29302 田中耕司 [Tanaka, Koji]. マレー型稲作とその広がり [The Malayan-Type Rice Culture and Its Distribution]. 306-382.

**書評 [Book Review]**

29303 押川典昭 [Oshikawa, Noriaki]. Tan Malaka, *From Jail to Jail*. Translated and introduced by Helen Jarvis. 383-384.

**現地通信 [Field Report]**

29304 上田曜子 [Ueda, Yoko]. コーラートの町 [The Town of Korat]. 385.



### 3. 研究報告書シリーズ

研究報告書シリーズは、センターが単行本として出版したもので、シンポジウムの報告書、文部省科学研究費補助金による海外学術調査の報告書、その他の研究奨学金を受けて行なった研究の報告書など、各種のものを含んでいる。既刊のものを以下に年度順にあげる。

1. KAWAGUCHI, Keizaburo, ed. 1965. *Rice Culture in Malaya*, Symposium Series No. 1.
2. INOKI, Masamichi, ed. 1966. *Japan's Future in Southeast Asia*, Symposium Series No. 2.
3. FUJIOKA, Yoshikazu, ed. 1966. *Water Resource Utilization in Southeast Asia*, Symposium Series No. 3.
4. HIGASHI, Noboru, ed. 1968. *Medical Problems in Southeast Asia*, Symposium Series No. 4.
5. 市村真一 編. 1975. 『稲と農民』
6. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1977. *Preliminary Report on Role of Education in the Rural Development of Southeast Asia—Thailand and Malaysia—*.
7. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1979. *Econometric Models of Asian Countries I*.
8. ICHIMURA, Shinichi; and MIZUNO, Koichi, eds.  
1979. *Ecology, New Technology, and Rural Development in Thailand and Malaysia* (with Special Reference to the Role of Education).
9. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1980. *Econometric Models of Asian Countries II*.
10. TSUBOUCHI, Yoshihiro; NASRLIDDIN, Iljas; TAKAYA, Yoshikazu; and RASJID, Hanafiah A., eds.  
1980. *South Sumatra, Man and Agriculture*.
11. WATABE, Tadayo, ed. 1981. *Report of the Scientific Survey on Traditional Cropping Systems in Tropical Asia*, Part 1: *India and Sri Lanka*, Part 2: *Indonesia*.
12. MATTULADA; and MAEDA, Narifumi, eds.  
1982. *Villages and the Agricultural Landscape in South Sulawesi*.
13. TAKAYA, Yoshikazu; and Narong THIRAMONGKOL.  
1982. *Chao Phraya Delta of Thailand* (Asian Rice-Land Inventory: A Descriptive Atlas, No. 1).
14. 渡部忠世 編. 1982. 『南西諸島農耕における南方的要素』
15. FUKUI, Hayao; KAIDA, Yoshihiro; and KUCHIBA, Masuo, eds.  
1983. *A Rice-Growing Village Revisited: An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand* (An Interim Report).
16. THAN TUN, ed. 1983. *The Royal Orders of Burma, A.D. 1598–1885*, Part One, *A.D. 1598–1648*.

17. JAYAWARDENA, S.D.G.; and MAEDA, Narifumi, eds.  
1984. *Transformation of the Agricultural Landscape in Sri Lanka and South India.*
18. Bunyawart LUMPAOPONG; Jitti PINTHONG; Chavalit CHALOTHON; and KAIDA, Yoshihiro.  
1984. *Chiang Mai-Lamphun Valley, Thailand* (Asian Rice-land Inventory: A Descriptive Atlas, No. 2).
19. MATTULADA; and MAEDA, Narifumi, eds.  
1984. *Transformation of the Agricultural Landscape in Indonesia.*
20. TSUCHIYA, Kenji, ed. 1984. "States" in Southeast Asia, from "Tradition" to "Modernity."
21. FUKUI, Hayao; KAIDA Yoshihiro; and KUCHIBA, Masuo, eds.  
1985. *A Rice Growing Village Revisited: An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand* (The Second Interim Report).
22. THAN TUN, ed. 1985. *The Royal Orders of Burma, A.D.1598-1885*, Part Two, A.D.1649-1750.
23. THAN TUN, ed. 1985. *The Royal Orders of Burma, A.D.1598-1885*, Part Three, A.D.1751-1781.
24. KATO, Tsuyoshi; MUCHTAR, Lutfi; and MAEDA, Narifumi, eds.  
1986. *Environment, Agriculture and Society in the Malay World.*
25. TANAKA, Koji; MATTULADA; and MAEDA, Narifumi, eds.  
1986. *Environment, Landuse and Society in Wallacea.*
26. THAN TUN, ed. 1986. *The Royal Orders of Burma, A.D.1598-1885*, Part Four, A.D.1782-1787.
27. THAN TUN, ed. 1986. *The Royal Orders of Burma, A.D.1598-1885*, Part Five, A.D.1788-1806.
28. 高谷好一編. 1986. 『東南アジア伝統農業資料集成』第1巻.
29. 渡部忠世編. 1986. 『日本農耕文化の展開と系譜——島の視点から』
30. EZAKI, Mitsuo, ed. 1987. *Development Planning and Policies in ASEAN Countries.*
31. THAN TUN, ed. 1987. *The Royal Orders of Burma, A.D.1598-1885*, Part Six, A.D.1807-1810.
32. 田中耕司 編. 1987. 『東南アジア伝統農業資料集成』第2巻.
33. JAIM, W.M.H. *et al.* 1987. *Review of Literature* (JSARD Working Paper No. 1).
34. HUQ, Muhammad Ammer-UI  
1987. *Review of Literature on Planning Studies in Bangladesh* (JSARD Working Paper No. 2).
35. SOLAIMAN, M. 1987. *Review of Literature: Institution Building* (JSARD Working Paper No. 3).

36. NOMA, Haruo; and CHAKRABORTY, Ratan Lal, eds.  
1987. *Selections of Records on Agriculture, Land Tenure and Economy of Mymensingh District, 1787-1866*(JSARD Working Paper No. 4).
37. THAN TUN, ed. 1988. *The Royal Orders of Burma, A.D.1598-1885*, Part Seven, A.D.1811-1819.
38. TAKAYA, Yoshikazu, ed. 1988. *Madagascar: Perspectives from the Malay World*.
39. 高谷好一 編. 1988. 『古代稲作農耕の学際的研究』
40. 柴山 守 編. 1988. 『東南アジア学研究支援：多言語テキスト処理システムの研究』
41. KUMAGAI, Toru; and KAIDA, Yoshihiro.  
1988. *Gobarchitra Village and Chandpur Irrigation Project*(JSARD Working Paper No. 5).
42. FUKUI, Hayao; KAIDA, Yoshihiro; and KUCHIBA, Masuo, eds.  
1988. *A Rice-Growing Village Revisited: An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand*(The Third Interim Report).
43. THAN TUN ed. 1988. *The Royal Order of Burma, A.D.1598-1885*, Part Eight, A.D.1819-1853.
44. Aris PONIMAN; 高谷好一 1988. 『伝統農業フィールドノート集』第1巻.
45. Yoshihara, Kunio, ed. 1989. *Oei Tiong Ham Concern: The First Business Empire of Southeast Asia*.
46. TSUBOUCHI, Yoshihiro, ed. 1989. *The Formation of Urban Civilization in Southeast Asia*.
47. YOSHIHARA, Kunio, ed. 1989. *Thai Perceptions of Japanese Modernization*(Published in association with Falcon Press Sdn. Bhd., Kuala Lumpur).
48. SAKURAI, Yumio. 1989. *Land, Water, Rice, and Men in Early Vietnam: Agrarian Adaptation and Socio-Political Organization*(Translated by Thomas A. Stanley).
49. Marasri SIVARAKS, compiled. 1989. *Catalog of Thai Cremation Volumes in the Charas Collection*.
50. THAN TUN, ed. 1989. *The Royal Orders of Burma, A.D.1598-1885*, Part Nine, A.D.1853-1885.
51. THAN TUN, ed. 1990. *The Royal Orders of Burma, A.D.1598-1885*, Part Ten, Epiloge, Glossary and Index.
52. YOSHIHARA, Kunio, ed. 1990. *Japan in Thailand*(Published in association with Falcon Press Sdn. Bhd., Kuala Lumpur).
53. 田中耕司 編. 1990. 『東南アジア伝統農業資料集成』第3巻.
54. NAI PAN HLA. 1990. *An Introduction to Mon Language*.
55. TSUBOUCHI, Yoshihiro, ed. 1991. *The Formation of Urban Civilization in Southeast Asia 2*.
56. 坪内良博 編. 1991. 『集落人口の性格と変動に関する比較社会学的研究』.

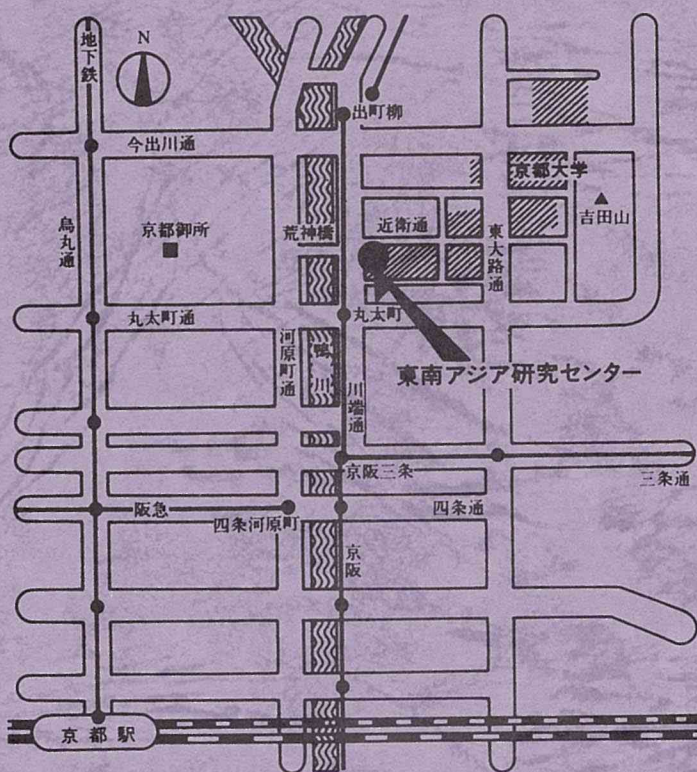
57. 高谷好一 編. 1991. 『フロンティア空間としての東南アジア』.  
 58. 田中耕司 編. 1991. 『東南アジア伝統農業資料集成』第4巻.

なお、センター関係者の研究報告書のうち、センター以外の機関により出版されたものを、参考までに掲げておく。

JSARD Publication Series(Published by JICA Bangladesh Office)

1. JSARD Editorial Committee, ed.  
 1988. *Proceedings of the Mid-term Review Workshop of JSARD, January 24, 1988*(JSARD Publication No. 6).
2. KAIDA, Yoshihiro; and HOSSAIN, S. M. Altaf, eds.  
 1988. *Gobarchitra Village in Chandpur*(JSARD Publication No. 7).
3. UCHIDA, Haruo *et al.* eds. 1988. *Jawar Village in Kishoreganj*(JSARD Publication No. 8).
4. HOSSAIN, S. M. Altaf. 1988. *Evolution of Cropping Systems in My-mensingh and Comilla Regions*(JSARD Publication No. 12).
5. NISHIMURA, Hiroyuki *et al.* eds.  
 1989. *Three Villages in Comilla*(JSARD Publication No. 9).
6. MAHARJAN, Keshav Lall. 1989. *Phanishair Village in Chandpur*(JSARD Publication No. 11).
7. CHAKRABORTY, Ratan Lal; and NOMA, Haruo, compiled.  
 1989. *Select Records on Agriculture and Economy of Comilla District, 1782-1867*(JSARD Publication No. 13).
8. MAMUN, Abdullah Al. 1989. *Agro-ecological Studies of Weed in Bangladesh*(JSARD Publication No. 14).
9. NOMA, Haruo; CHAKRABORTY, Ratan Lal, compiled.  
 1990. *Select Records on Agriculture, Land Revenue, Economy and Society of Noakhali District, 1849-1878*(JSARD Publication No. 15).
10. ANDO, Kazuo, ed. 1990. *Dakshin Chamuria in Tangail*(JSARD Publication No. 10).
11. KAIDA, Yoshihoro, ed. 1990. *Tetulia Village in Bogra*(JSARD Publication No. 16).
12. MAMUAN, A. Al. 1990. *Agro-ecological Studies of Weeds and Weed Control in a Flood-prone Village of Bangladesh*(JSARD Publication No. 17).
13. JSARD Editorial Committee, ed.  
 1990. *Proceedings of the Second JSARD Workshop, August 20-21, 1989*(JSARD Publication No. 18).
14. KAIDA, Yoshihoro, ed. 1990. *A Review of Related Studies*(JSARD Publication No. 19).
15. KAIDA, Yoshihoro *et al.*, eds. 1990. *Key Questions and Issues from Village-Based Studies, 1986-1989*(JSARD Publication No. 20).

# 案内地図



◎「京都駅前」から市バス4、14、特17、または205に乗車。

河原町通「荒神口」で下車、東へ徒歩5分。

◎京阪電車「丸太町駅」から北へ徒歩5分。

京都大学東南アジア研究センター

〒606 京都市左京区吉田下阿達町46 Tel. (075)753-7302

Fax (075)753-7350



